

関大

第589号

平成27年(2015年)9月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

平成27年度校友総会 10月18日(日)に開催
竹内洋東京センター長が講演「私論 戦後70年」
天神祭・船渡御に「関大丸」10度目の就航
平成27年度全国組織代表者会議開く

創立130周年記念事業 寄付申込者ご芳名<4>
創立130周年記念事業の概要―既に着工の事業も
林原美術館と連携協定 貴重資料を超精細画像に
桂文枝氏の叙勲受章記念祝賀会
関大関係者230人が祝う



岸を離れ船渡御に出航する「関大丸」

創立130周年に向けて 校友の輪をより大きなものに

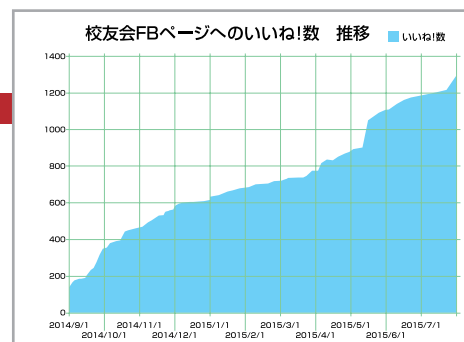
～校友会Facebookページ開設から1年を迎えて～

2014年9月1日に開設した“校友会Facebookページ”は、校友の皆さまのご支援・ご協力により、開設1年を迎えることができました。

“校友会Facebookページ”は、「関西大学校友会」をより身近に感じてもらうとともに、今まで以上に校友の皆さま同士の活発な交流、または出会いや再開の場となるよう開設しました。現在、校友の皆さまからの「いいね!」や「コメント」、そして世界または全国各地の支部の皆さまから情報をお寄せいただき、開設の目的である交流の場、再会の場が広がっているのではないかと思います。

校友の皆さまには、ご友人をご招待いただくなど、これまで以上に積極的に“校友会Facebookページ”をご活用いただき、来年に迎える創立130周年に向け、校友の輪をより大きなものへと広げていただけますと幸いに存じます。

“校友会Facebookページ”への「いいね!」数は、7月末の時点で1,298件に達し、以降も伸び続けております。この1年をデータで振り返って、皆さまにご報告いたしますとともに、2年目も皆さまにお楽しみいただける投稿をめざしてまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。



「いいね!」数の推移について

“校友会Facebookページ”開設から1年、これまで順調に「いいね!」数を伸ばしてきました。特に、卒業式や入学式、最近では天神祭船渡御・奉拝船「関大丸」出航などの大きなイベントがあるタイミングで、皆さまからの新たな「いいね!」を獲得しております。

より多くの校友の皆さまに“校友会Facebookページ”をご利用いただけるよう、これからも投稿を続けてまいります。

男女別・年代別データについて

“校友会Facebookページ”に「いいね!」を押していただいた皆さまを、男女別、年代別に表したデータです。幅広い年代の皆さまから「いいね!」をいただいていることをうれしく思うとともに、年代を超えた交流へと発展することを大いに期待しております。

また、男性が圧倒的に多い結果となっており、女性からの「いいね!」獲得が今後の課題となっています。女性校友の皆さまには、ぜひ積極的にご利用いただき、“校友会Facebookページ”に華を添えていただきますよう、お願いいたします。

【男女別、年代別】ユーザー数（「いいね!」を押した人）
7月31日時点

年代別	男性	女性	合計
13～17歳	2	1	3
18～24歳	49	37	86
25～34歳	136	73	209
35～44歳	224	70	294
45～54歳	349	58	407
55～64歳	172	32	204
65歳以上	87	8	95
計	1,019	279	1,298

都道府県別データについて

“校友会Facebookページ”に「いいね!」を押していただいた皆さまを都道府県別に見ると、関西、特に大阪、兵庫に集中しています。続いて京都、奈良と関東の東京、神奈川、九州の福岡などですが、本会としては、全国そして世界で活躍される校友の皆さまを繋ぐことが大きな課題となっています。

校友の皆さまには、各地で活躍されるご友人を“校友会Facebookページ”にご招待いただくとともに、情報の提供をよろしくお願い申し上げます。

ランキングについて

“校友会Facebookページ”は、1年間で375件（2015年7月31日時点）の記事を投稿してまいりました。その中で、特に人気があった記事をご紹介します。リーチ数（記事を見た人の数）を基に順位付けすると、トップ3は下記の記事となりました。

- 1位：チアリーダー部OGの吉田さんが校友会を訪問（リーチ数28,240）
- 2位：天神祭 関大丸まもなく出航（同9,303）
- 3位：体育会野球部優勝 校友会を訪問（同4,410）

トップ3にランクインしたのは、OB・OGの活躍、校友会本部の活動、クラブ・サークル情報でしたが、“校友会Facebookページ”では、それ以外にも、大学風景（過去との比較）や大学の活動などの情報、支部の活動なども定期的に投稿しています。それらの中から、反響が大きかったものには下記のものなどがあります。

■今日の一枚～過去を訪ねて（正門と大学前通り）～（同3,272）

■支部情報・上海関大会臨時例会（同1,050）

リーチ数1位

【校友会情報】 ～校友の活躍～

応援団バトン・チアリーダー部OGの吉田奈央（平成24年商卒）さんが、このたびNFLミネソタバイキングスのチアリーダー・オーディションに合格され、本日その報告に、校友会を訪ねてくださいました。



本部活動

- 2 **平成27年度全国組織代表者会議開く**
「支部活動の活性化」をテーマにパネルディスカッション
社会連携や独自の活性化策展開の6支部をパネラーに討議
- 7 **平成27年度校友総会 10月18日(日)に開催**
竹内洋東京センター長が講演 「私論 戦後70年」
- 8 **天神祭・船渡御に「関大丸」10度目の就航**
市民に「関西大学創立130周年」をアピール
一軸浩幸 前校友会長逝去 10月5日に「お別れの会」

創立130周年記念事業関係

- 10 記念事業募金 寄付申込者ご芳名<4>
「創立130周年記念事業」の概要一既に着工の事業も

大学・学生関係

- 15 **私立大学戦略的研究基盤形成支援事業**
今年も1件採択で、件数は私大トップ
林原美術館と連携協定—貴重資料を高精細画像に
桂文枝氏の叙勲受章記念祝賀会—関大関係者230人が祝う
航空部が創部85周年で新グライダー導入
佐賀市と久留米市で無料法律相談開く
- 20 **海外支部だより**
会と催し
- 24 **北から南から**<各地支部だより>
- 43 **校友トピックス 北陽高出身の又吉直樹氏が『火花』で芥川賞受賞**
新刊紹介 訃報



▲明かりを灯し大川を行く「関大丸」

■ 関西大学校友会ホームページ

<http://www.kandai-koyukai.com/>



草の甲

「読書の秋」、その由来は、中国唐代の文人韓愈が詠んだ「灯火親しむべし」(秋の夜長は灯りをつけての読書に適している、という意味)という詩の一節とされ、日本語の文章でこの詩に触れている例は、夏目漱石の「三四郎」(明治41年)が最も古く、大正7年の読売新聞に「読書の秋」との表現があったとのことですが▼また、「読書の秋」という言葉が定着したのは、戦後間もない昭和22年に「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」というスローガンのもと、同年11月17日から、第1回「読書週間」が開催されたのがきっかけとされています。翌年の第2回からは「文化の日」を挟んで2週間の10月27日～11月9日と定められ、今年で第69回となります▼「活字離れ」「読書離れ」が社会問題としてクローズアップされて久しく、ネットを経由したオンデマンド出版や電子書籍も普及の途上にあり、読書離れの大きな要因は「読みたい本がない」とも言われています▼そのような中、「読みたい本」として爆発的に売れている小説があります。お笑いタレントの又吉直樹さんが書かれた『火花』です。又吉さんは、『火花』で第153回芥川賞を受賞されました。『火花』は、その話題性もあって、既に(8月上旬)累計発行部数200万部を突破し、今後どこまで売れるのか注目されています▼又吉さんは北陽高校(現関西大学北陽高校)出身です。今年1月に『サラバ!』で第152回直木賞を受賞された西加奈子さんに続き、何と今年は直木賞、芥川賞のダブル受賞者を輩出するという快挙です。お二人には存分に活躍され、「読書離れ」解消に一役買って頂きたいと思います。

平成27年度全国組織代表者会議開く 64支部と本部役員ら208人が出席

参加者を地域支部に限定した平成27年度全国組織代表者会議が、7月4日午後1時から1000周年記念会館を会場に開催され、宮城支部をはじめ関東や中国、四国など遠隔地を含め64の地域支部の150人と大学役職者、本部役員など計208人が出席した。

今回は、昨年度のパネルディスカッションの実績も踏まえ、出席者も同様に幹事長・事務局長など実務者と青年部・女性部など次世代を担う会員から、各組織3人以内の出席を求め、「支部活動の活性化」について、社会連携や将来を見据えた支部の活性化に取り組んでいる6支部をパネラーに、参加者全員が問題点や改善点を共有できるよう、パネルディスカッション形式で討議が行われた。

創立130周年記念事業募金の 達成で母校の支援を

第1部セレモニーは、古屋敷博文組織部員の司会で進行。田中義昭副会長が開会の言葉を述べ、学歌を斉唱。来賓紹介の後、寺内俊太郎会長が挨拶に立った。

寺内会長は、先ず「本日は、足元の悪い中を遠隔地を含め多くの方にお集まりいただき感謝申し上げます。校友会の今後の充実発展のためにも、皆さま方の知恵をお借りして、この全国組織代表者会議が有意義に終わりますことを祈念いたします」と述べ、パワーポイントを使って校友会と大学の現況を紹介した。

パワーポイントでは、会長2期目の就任時に制定した「平成

25年期会長基本方針」の説明からはじまり、母校愛を具現化する組織の構成として、校友会の代議員、常議員、法人の評議員、校友理事などの役割を説明。特に代議員については、「校友会の決議機関は代議員会であるとの意識をさらに高めていただきたい」と強調した。

次いで、創立130周年記念事業につき、完成イメージ図等を紹介した後、「記念事業の総額は40億、募金目標は半額の20億であるが、まだ半額に達していない。校友会関係の目標は6億で、現況は1億を超えたところ。6億を我々は何としても集め、母校を支え、母校を支

援したい。この数字を意識していただき、一層の協力をお願い申し上げます」と要請した。

最後に、地域支部への助成金について、「平成22年度733万、そして26年度800万。今日の組織代表者会議でお金の話は出ないかもしれないが、貴重な校友会費を支部の助成金として使っているの、その助成金を意義あるものとして使ってい

社会連携や独自の活性化策展開の 6支部をパネラーに討議

など」を説明。

第2部代表者会議は、組織部の渡邊善孝、村上康司両部員をコーディネーターに、社会連携や将来を見据えた支部の活性化に独自のやり方で成功している6支部の役員・若手にパネラーとして登壇願ひ、「支部活動の活性化」をテーマにパネルディスカッションを行った。

最初に、田中義信組織部長が今回のパネルディスカッションの趣旨を説明。

田中部長は、「校友会の一番の基盤は地域支部であると考えている。それは全校友が参加できる機会があるからである」とし、地域支部活性化のため、本部が実施している各種支援策（支部総会案内助成、機関紙「関大」への総会案内等の無料同封、社会貢献事業への助成

ただくよう願いたい」と述べ、挨拶を結んだ。

来賓挨拶で、池内啓三理事長と楠見晴重学長は、それぞれ直近の大学の事情や130周年記念事業・同募金、130周年事業の1つであるイノベーション創生センターに関する状況を説明、大学に対する一層の支援を依頼した。

パネルディスカッションにつき、パネラーから成功例と努力の実例をお聞かせいただき、参考にしていただいて、これからの支部活動において1つでも実行していただけたら、校友会がますます発展していくのではないかと思っている」と説明した。

パネルディスカッションでは、まず、コーディネーターからパネラー各支部の在住校友数、支部総会の案内状発送数、総会参加者数と平成卒業生の割合など、基礎データを紹介。パネラーが自己紹介を行い、パネ



ディスカッションに移った。
主な報告、討議内容は次のとおり（抜粋）。

■社会連携について

【コーディネーター（以下コ）】今からパネルディスカッションをはじめさせていただきます。

早速ですが、校友会では今、社会連携に力を入れていますが、紹介する2支部は、特徴のある活動をされています。

まず、滋賀支部ですが、母校の未来を見据えた子どもを対象にした野球教室やサッカー教室を開催されています。今井さん、活動の内容を紹介ください。

【今井】昭和59年に再発足

■パネルディスカッション

テーマ「支部活動の活性化」

コーディネーター	組織部	渡邊 善孝	村上 康司
パネラー	宮城支部	支部長 伊藤 新	(昭46学経)
	愛知支部	組織部長 佐々木 慧	(昭40学経)
	滋賀支部	支部長 今井 清	(昭33学法)
	伊丹支部	広報部長 古屋敷達夫	(昭43学経)
	芦屋支部	女子会 浅尾 美佳	(平10学文)
	和泉支部	副支部長 淵本 英樹	(平5学経)

をして、まず手がけたのは文化事業です。例えばオープン講座、ITとか税制とか、あるいは講演会で時事問題とかスポーツとか、それから公開講座、教室としてはそば打ちとか作陶。それから、お能とかいろんな事業をやってきました。

しかし、地方公共団体やマスメディアなどが市民大学とか老人大学とかを開催され、支部の催しには一般の人はもう数人しか来ない。何か他のことをやろうと役員会に諮って、じゃあスポーツをやってみよう、特に次世代を担う学童を対象にやったらどうだろうということになり、25周年の時に野球教室をやりました。

現役の野球部の滋賀県出身の子を中心に数人に声をかけたんですが、元プロ野球選手は日程が合わなくて、藤井栄治さんだけが来てもらえました。

そこで基本スキル、いわゆる基本的な練習を、現役の学生と藤井さんから教えてもらう。それと簡単なミニゲームみたいなものもやりました。

次は、昨年の支部再発足30周年。今度はサッカー教室をやりました。現役の滋賀県出身のサッカー部員3人と、ほかの部員にも何人か来てもらいました。

子どもたちも、選抜で150

人ぐらい選んだんですが、大変喜んで、チームのコーチ、父兄200人から300人近い大人も集まった。

若い子を対象にしたオープン事業は何かメリットかというところ、子どもが来る。指導者も来る。そこへ父兄が来ます。それ以外に、新聞社とか放送局とかいろんなところにPRをお願いした。その時、「関西大学校友会滋賀支部」というのは絶対言ってくれます。関大の学生さんが来ているというので、それもPRしてくれた。金額的には10万少々の経費はかかりますが大変効果的だったと思っています。

今後は、もう少し連続性のあるもの、定期的に毎年開催できるものを、経費の捻出も考えて企画中です。

【コ】それでは、もう1つ、社会連携で特徴のある活動をされている伊丹支部を紹介させていただきます。

平成23年に「知と美の集大成——関西大学所蔵名品展」というのを開催されました。これは、校友会でも今後参考にしていこう社会連携じゃないかと考えています。

伊丹支部の古屋敷様、よろしくお願いします。

【古屋敷】伊丹支部では、例年、地域に根差した活動に取り

組んでおり、平成19年から今日まで、市街地活性化のお祭りに毎年エントリーして、支部の資金集めの一助にもなっています。フリーマーケットとか古本市、あるいはオープン関大校友会伊丹支部というように、手を変え品を変えて事業に参画しています。

本日は、この社会連携活動ではなく、平成23年3月に取り組みました「知と美の集大成——関西大学所蔵名品展」について報告させていただきます。

開催期間は、23年3月5日から27日までの約3週間、場所は伊丹市の柿衛文庫です。主催は財団法人柿衛文庫、共催は学校法人関西大学、後援は伊丹市、伊丹市教育委員会、関西大学校友会、関西大学校友会伊丹支部、そして「知と美の集大成——関西大学名品展」支援実行委員会の5団体です。

趣旨は、伊丹支部では、アカデミック関大を校友並びに地域社会にアピールできる絶好の機会であると捉えました。柿衛文庫も、大学との本格的な連携事業は初めての試みということで、新しい学社連携事業のスタートにしたいということでした。

内容はタイトルのとおりですが、関西大学の図書館及び同博物館が所蔵する名品を取りまとめて紹介する初めての展覧会

で、同時に日本の三大俳諧文庫の1つと言われている財団法人柿衛文庫が所蔵している選りすぐった名品を展示しました。展示品は、関西大学から45点、柿衛文庫から30点の計75点です。その際、さらに関大をアピールするというので、1つには「関西大学の名品を語る」という特別講演を開催して、元関大教授の肥田皓三先生に講演をしてもらいました。

2つ目には、高松塚古墳の極彩色の写真、このパネルを古墳状に組み立てて展示しました。

3点目に、その年の歌会始に第一中学校3年生の大西春花さんが選ばれ、伊丹市在住でしたので、その際詠んだ短歌と、天皇陛下から下賜されたお品等を展示してもらいました。

開催期間中の観覧入場者は1103人、1日平均55人程度でした。特に高校生以下の児童・生徒は、そういうものになじんでもらおうと無料としました。

次に、経費ですが、収入については基本は財源がありませんので、皆さんに協賛金をお願いしました。1口3000円で趣意書を回してお願いしたところ、個人130件、団体31件の協賛をいただき、113万9900円を頂戴しました。このうち京阪神地区を中心に18支部



からも協賛金を受領しています。また、お祝い金を校友会ほかからいただき、合計121万9900円の収入を得ました。

事業支出は91万円ほどで、残りの30万円については、有効に使っていただこうということで、名品展の最終日が東日本大震災の日でしたので義援金として、また大学で実施していた奨学金に寄附しました。

■青年部会・女子部会の活動について

【ユ】ありがとうございます。

2つ目の報告ですが、青年部会・女子部会の活動について、平成卒業のお二人に話したくなります。

和泉支部は、2013年11月から青年部の活動を始められていますね。

【淵本】その時はまだ私1人で、翌年1月に第1回目の青年部懇親会ということで始まりました。私の同級も含めて4人でした。

これまでに6回ほどイベントをして拡充していますが、その中で第3回ですね、14年7月にみんなから「関大巡りをしよう」と声があがりました。支部長に報告したところ、「吹田支部にも声をかけてみたら、いろいろ教えてもらえるよ」ということで連絡をとりました。キャンパスのどこを見学したらいいとか、終わった後にこの店で懇親会をしたら、吹田支部も青年部があるのだからでできるなど、アドバイスを貰い、実施しました。

吹田支部の皆さんには、本当に温かく迎えていただいて、昔から知っている友人というような感じで、話も盛り上がりしました。これが非常に好評という

か、みんな喜んで「またぜひやりたいな」ということになっていきます。

【ユ】皆さん、青年部会や若手会を立ち上げても、立ち上げた後、人数を増やしていくのに苦労されているかと思いますが、工夫されていることがあればお聞かせください。

【淵本】各イベントごとに徐々に人数が増えてきました。募集に関して非常に有効だったのは機関紙「関大」の活用です。先ほど田中組織部長からも説明がありましたが、無料ですし、しかも地域別、年代別などのデータがありますので、その辺を絞り込んでチラシを発送してもらえ、非常に有効だったと思っています。

また、イベント終了後に写真と報告を送ると、それを記事として掲載してくれます。それを見た人が連絡をくれる。その人には青年部の活動をしっかり説明すると、「一度行ってみようかな」ということで、非常にいきつかけづくりになっています。

【ユ】青年部を継続するに当たって、諸先輩方、先ほどもいろいろ教えていただいたといわれましたが、フォローとかバックアップが重要じゃないかと思うんですが。

【淵本】見守っていただきな

がら、時には本当の父親や兄弟のように話をして貰える。本当に居心地のいい雰囲気をつくって貰えています。それが今の定着につながっていると確信しています。また、立ち上げの時には金銭的な援助もいただきました。

今後の活動ですが、スプリングフェスティバルに今年初めて参加しました。これもみんなの絆が深まった一つでした。毎年参加していきたいと考えています。また、定期的な飲み会も続けながら、他支部との交流会を広げていきたい。

それと、地域貢献という地域活動に力を入れていきたい。実は市長さんにお話しをしたら「どんどんやれ、バックアップするよ」と言っていたみたいです。

【ユ】ありがとうございます。

引き続き芦屋支部の浅尾様に、女子会について話したいです。

もともと20年近く前から先輩方のご尽力で若手の会、昭和50年以降の卒業の会ということでKUフイフティーズという活動がありました。その活動の成果があつて非常に若手が定着しているという土壌があります。

女性ばかりの会というのも、3年前のさくらまつりで、芦屋支部女子会のアイコン的存在の、女性から見てもマドンナと思えるような山本淑子先輩のライフスタイルを私たちも学んでみたい、1日淑子密着会をやりたいという希望を、断られるのを覚悟で伝えました。そしたら、山本先輩も支部長から女子会をやってみないかという声がかかっているということで、上からと下からの声が合わさつて女子会が3年前に誕生しました。

1回目の女子会は、支部の総会にも定着していた5人からスタートしました。

女子会の参加ルールは、まず1つ大切にしていますのが「年に1度の総会には出てくださーい」というルールです。

2つ目が、芦屋市在住もしくは勤務など芦屋にゆかりがあること。

3つ目は、女子会は支部の下部組織ではなく、自主運営組織として活動しており、会費は全て自費です。金銭的な関係で、お仕事もしくは何らかの社会活

動をされている女性に今のところは限定しています。在校生にも若手の活動にはほとんど参加をしていただいています。女子会への参加は卒業後ということをお願いしています。

順調に人数も増えて、現在最大で11人が参加する会になっています。

内容なんです。ぱっと見は芦屋のおいしい店でグルメ会でもしているというような気楽な感じですが、実は皆さん本当にキャリアが様々な方の集まりで、経営者の方、フリーランスで翻訳・通訳をされている方、会社も多様な企業に勤めておられる方ばかりで、これは校友会の活動に参加する意義にも当たっていると思いますが、皆さんのお仕事と日々のちょっとした会話、そういったことから本当に沢山のヒントをいただいたり、新しい人生を体験させていただいているような、すてきな時間を過ごしています。

【ユ】ありがとうございます。お話を聞いていますと、女子の異業種交流会的な要素が強いのかなと感じました。

女子会でイベントをするときに、やはり幹事の方がおられると思うんですが、その辺はどう工夫されていますか。

また、支部長はじめ先輩方のフォローとバックアップについて

てお聞かせください。

【浅尾】一番最初は、山本先輩が発起人ということで幹事をしてくださったんですが、そこでルールを簡単に決めて、それ以降、参加者全員で持ち回りで幹事をしています。

必ず幹事が回ってきますので、最終的に幹事をこなした後には、「あつ、私、芦屋支部の一員になった」というような若手ですとか、初めて芦屋支部にきた方にとっても当事者意識を持っていたらいいことにつながっているのではないかと思います。

支部のバックアップにつきましては、若手の会には芦屋支部の下部組織になるので金銭的な援助もいただいています。

女子会に関しては、基本的に自主運営の組織となっていますので、金銭的に定期的に女子会運営費といった形では頂戴していません。ただ、言い出しっぺの一人でもある支部長から時々カンパを頂戴しています。支部長は、日ごろのお礼を込めて一度招待させていただきました。

【ユ】最後に、今後何か考えている企画があれば、お願いしたいと思っています。

【浅尾】女子会の役割としては、どんどん新しい女性校友が生まれてくる中で、校友会となるとどうしても男性が多い。そ

この垣根を低くしていくということで、引き続き支部ですとか、校友会と女性との間のかけ橋となるような存在でありたいということが一つ、あと既存の女子会メンバーにも今後引き続き集まることに意義を持ってもらえるように、新しい企画、ちよつと外に出て行って新しい経験をしてみようとか、そういったことも考えていきたいなと思っています。

■支部の再建と活性化について

【ユ】ありがとうございます。それでは、支部の再建、活性化について、宮城支部と愛知支部のお二人にお聞かせいただきます。

まず、宮城支部の伊藤様、総会を10数年ぶりに開催され、組織部からも参加させていただきました。今後の展開について、プロ野球観戦ツアーなど特色ある活動も含めてお話しください。

【伊藤】支部活動の報告の前に、東日本大震災の節に多くの方よりご支援をいただきましたことに對しまして、この席をお借りして御礼申し上げます。震災より4年4カ月となりますが、まだまだ復興したとは言えない現状で、復興のため、毎日毎日多くの人たちが頑張っております。

さて、宮城支部は、昭和50年に設立されておりますが、平成17年から10年間にわたり総会が開催されませんでした。昨年、校友会本部から支部の活動要請を受けまして、前支部長及び副支部長をしていた私、過去に出席をしていたいた2、3人に声をかけて集まっていたいただき、総会の開催を決めました。

人集めについては、まず過去の総会に出席いただいた方々に声をかけようということで、50人ぐらいの方に声をかけまして、15、20人に集まっていたことができました。

また、本部から在住校友名簿をいただいて260人の方々に案内状を差し上げた。返事があったのは90人前後、50通ほどは住所連絡地なしということで戻ってきた。一部わかっている方々については、返事がなくても電話で参加を呼びかけて、最終31人の支部校友の出席で開催できました。

仙台は、転勤族が多くて大体2、3年すると転勤される。非常に人集めが大変だという事情があります。

今年も11月14日（土）午後5時からハーネル仙台で総会を開催する予定ですが、本部から貰う名簿を参考にして、全員に声をかけていこうと思っています。また、昨年からフェイスブ

ックを開設しました。フェイスブックには総会の案内等を常にかせています。

また、当支部では、関西大学の校友がプロ選手として、野球では楽天に關大一高出身の西田選手、サッカーではベガルタ仙台に關大卒業の金園選手がいます。その選手たちにも、「關大ここにあり、宮城支部ここにあり」と応援会を結成して応援しようということで、今年の4月に野球の応援を行いました。6月にはベガルタ仙台の試合に応援に行っています。

この案内をフェイスブックに記載していますが、メールアドレスのわかっていない校友には、メールで逐次連絡をして参加を呼びかけています。

また、役員の中にゴルフ場の幹事さんいますので、今後ゴルフ大会なんかも開催したらという話も出ています。それから、若手会や女子会の開催も考えています。

総会ですが、交通の問題もあって宮城県全域から一堂に会することが、非常に難しいということがあります。宮城県は広くて、仙台まで遠いところからですと、車で2時間ぐらいかかります。総会に出たくても、泊まるところがない、帰れない。仙台市から交通アクセスの悪いところは、その地域に分科会みた



いなものをつくって活動したらどうかということで、話をしています。

【三】東北地方を巻き込んだ活動について、ご紹介をいただけますか。

【伊藤】東北地域では、まだ支部活動を行っているところはありません。宮城だけだと思います。

そこで、昨年は青森の方、福島の方を宮城県の支部総会の時に案内を差し上げて、おいでいただき、もし支部を立ち上げるのであれば、宮城支部としても応援をさせていただきますという話はしています。

【三】広い県内での支部活動として、地域活動に滋賀支部も

取り組んでいるとのことですが、ご紹介いただけたらと思います。

【今井】滋賀県も南北に120キロぐらい、東西で60キロぐらいあります。そして、琵琶湖が真ん中にありますから、夕方からとかは、全県的な会合を開くことは大変難しい。

それで、発足したのは10年ほど前なんですけど、組織部会で恒常的にきちっとやろうと始めたのが地域交流会です。簡単に言いますと、大津は2000人ほど在住校友がいますので、6つぐらいに分け、あと12市は中学校区、1市で少なくとも2つは中学校があります。そういう狭い範囲内で「普段着で行こう」をキャッチフレーズにして、夕方からでも、6時半とか7時からでも集まれるような会合を持っています。

これは10人から20人程度の集まりですが、世代間の交流ができる、若い人から後期高齢者まで一緒に普段着でつき合おうということにしています。

【三】それでは、愛知支部の紹介をさせていただきます。愛知支部はAX600プロジェクトという支部活性化プロジェクトを進めておられます。佐々木様、説明よろしくお願ひします。

【佐々木】AX600というネーミングですが、Aは愛知

支部、Xは開発プロジェクトの総称ということ、600というのは3年後に私どもの年次総会に600人以上を動員すると、こういうことを目標としてネーミングしています。

現在、愛知支部の在籍者は4700人。総会に出てくるのは70人ぐらいで、わずかな数%という現状ですので、ご多分に漏れずじり貧状態に陥っている、これは何か活性化のプロジェクトを起こさないかということが始まりました。

このAX600プロジェクトは、組織を活性化するというところで、帰属意識の向上を図ります。一言で言っていますが、突き詰めていくと関西大学出身者であるという自覚です。校友という意識ですね。それと大学への恩返し。このような気持ちで校友の1人1人にならない限りは、帰属意識は出てきません。この自覚を何としても起こそうということ、具体的なアクションですが、ポイントは各種クラブをつくるということ、各集団のコアをつくるということ、これに参加させます。各種コアのプロジェクトでは、現在もう既にやっているものもあります。旅クラブとか、ゴルフクラブとか。同時に新プロジェクトを始動させます。

開始させるテーマとしては、

文化部組織の創設、体育会部組織の創設、区域分割再検討、企業内関大OB会組織との連携、あるいは業種別組織の創設、各種同好会クラブの創設、顧問会などです。

この中で文化部というのは、音楽会その他を地域社会貢献も含めて、大学のそういう活動と連携しながら、愛知地域に招聘してやっていく。体育会部組織というのは、愛知支部校友の中で体育会出身者を調べますと、約460人10%が登録されています。これをスポーツ千里会という会をつくり、7月26日に発会式をやります。体育会の所属部を超えた組織体にし、体育会出身者の持っている独特の縦割り社会と結束感、こういうことを支部組織の中へ取り入れたい、ということなんです。

それから、区域分割というのは、先ほども他県でも出ておられますが、愛知県も名古屋地区を中心としたエリアは非常に活性化していますが、ちょっと離れますと、豊田市であるとか岡崎とか知立とか、大企業が集中しているにもかかわらず、非常に手薄です。このあたりをもう一度活性化させようということなんです。

それから、企業内関大OB会、特にトヨタ自動車の関大OB会というのは非常に大きく

て、トヨタ関係グループ10社ぐらいありますが、ここを全員集めたらすごい数になります。それぞれが企業内でやっている活動を愛知支部の活動へ連携させていこうと考えています。説明は省略しますが、他同じような内容です。

最後に、このAX600プロジェクトをやっていくために、どうやってたることができるかということですが、時間がありませんので、アメリカの元国務長官であり、国防総省の統参議長をやったコリン・パウエルを言葉を紹介して終わります。

「組織は実際には何もなし遂げられない。計画も何もなし遂げられない。マネジメントの理論も問題にはならない。努力が成功するか、失敗するかは、人間がそこにかかわっているからだ。最上の人間を引きつけてこそ、すぐれたことがなし得るのである。以上です。」

【三】本日は、長時間に亘り、貴重なご報告をありがとうございました。

懇親会でも意見交換

パネルディスカッション終了後、約1時間、100周年記念会館ホールで行われた懇親会でも、参加者は熱心に意見交換や情報交換を行った。

平成27年度



関西大学校友総会



講師 たけうち よう氏
竹内 洋氏

1942年(昭和17年)1月8日生

専攻は教育社会学・歴史社会学。教育学博士(京都大学)。関西大学名誉教授。京都大学名誉教授。現在、関西大学東京センター長。

略歴：関西大学社会学部助教授/教授、京都大学教育学部助教授、京都大学大学院教育学研究科教授/同研究科長、同教育学部長を歴任。2005年(平成17年)3月に京都大学を定年退職。同年4月に関西大学文学部教授に再任。放送大学客員教授を兼任。2010年(平成22年)4月より関西大学人間健康学部長/教授。2012年(平成24年)3月に関西大学を定年退職。日本教育学会会長、読売新聞読書委員、中央教育審議会専門委員などを歴任。現在はパナソニック教育財団有識者会議メンバー、日本民間放送連盟優秀番組審査委員など。

【受賞歴】

日経・経済図書文化賞
(第39回 1996年 受賞作:『日本のメロクラシー』)
読売・吉野作造賞
(第13回 2012年 受賞作:『革新幻想の戦後史』)
など。

■日時 平成27年10月18日(日)
受付 11:30～ 開会 12:30～

■場所 関西大学千里山キャンパス

第1部 (12:30～14:15)

総 会：BIGホール100(第2学舎4号館内)

第2部 (14:30～15:30)

記念講演：BIGホール100(第2学舎4号館内)

第3部 (16:00～17:00)

懇 親 会：凜風館2階ダイニングホールディノア

記念講演

「私論 戦後70年」

敗戦は私が3歳のとき。昭和20年5月の東京山の手大空襲。そのとき、私は、母親に背負われて東京を逃げ惑っていた。いや3歳になったばかりだったから逃げ惑っていたことをわかってはいない。空が真っ赤になり、強風が吹いていたことは憶えている。それから父の郷里の佐渡島に疎開することになる。疎開先は敗戦で休業中の女郎屋の2階の一部屋。廊下に七輪が置いてあった。煮炊きはそこでおこなわれた。疎開者や海外からの引揚者が食べ物に分ちあい、肩を寄せ合って生きていた。自分の家族も他人の家族も溶け合っていた。戦争も敗戦も貧困もわかっていなかったから、人と人の純粋な交流の楽しさと美しさだけが記憶にある。戦争と敗戦の残した深い傷を知るようになったのは、もっとあとになる。父を戦争で失った生徒や、戦争未亡人となり亡夫の実家を頼って子供たちと佐渡島にやってきた人たちの難儀を知ったときからである。こうした自分史とのかかわりで戦後70年の歩みと今を考えてみる。

【著書】

『学歴貴族の栄光と挫折』講談社学術文庫
『大学という病 東大紛擾と教授群像』中公文庫
『教養主義の没落 変わりゆくエリート学生文化』中公新書
『丸山眞男の時代 大学・知識人・ジャーナリズム』中公新書
『メディアと知識人』中央公論新社
『大衆の幻像』中央公論新社 など。

お問い合わせ

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL06-6368-0044 FAX06-6380-8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

市民に「関西大学創立130周年」をアピール ～天神祭・船渡御に「関大丸」10度目の就航～

千年の歴史を持ち、日本3大祭に数えられる天神祭。そのクライマックス・船渡御が、7月25日夕刻から行われ、約80艘の船が大川を行き交い、祭りを盛り上げた。「関大丸」は、今年で早くも10度目の就航。来年に迎える「関西大学創立130周年」を、大川の両岸や橋の上で

祭りを楽しむ市民に力強くアピールした。

「関大丸」の就航は、校友会の母校創立120周年記念事業の1つとして始められ、その後、天満宮は学問の神様である菅原道真公を祀っており、大阪で生まれ育った大学としてこれに参加することは意義がある、

また、大学も天満宮と繋がりが深く、天神橋筋商店街とは社会連携を進めているなど関係が深いとして、毎年就航している。

まだ熱気の残る午後5時半、出航前の開会セレモニーが始まった。まず、事業部担当の渡邊泰之副会長が開会の挨拶をし、応援団第93代団長小山圭太君の指揮で学歌を斉唱。寺内俊太郎校友会長が「今年も関大丸にようこそ乗船くださいました。来年母校は創立130周年を迎えるが、関大丸就航の意義を感じながら母校に思いを馳せるとともに、船上から天神祭を大い

に楽しみましょう」と歓迎の言葉を述べた。

来賓を代表して、池内啓三理事長は、創立130周年記念事業の概要や募金状況を説明し、乗船者と一緒に「強い、関大」のエイルを行った。楠見晴重学長は、関西大学と天神祭、天満宮、天神橋筋商店街との連携を紹介。中でも一昨年、楠見学長の学術的サポートによって飲料用の良質な水として復活された「天満天神の水」は、「受験生が飲めば関大に合格する」と今後の全国展開についての展望を述べた。

弁当を食べ、一息ついたところで、特別招待した26年度卒業式の学部総代だった2人の新校友、留学生2人、バレーボール部女子主将の川西理花子さんら体育・文化・学術などで活躍の現役学生4人が紹介され、それぞれが自己紹介し、大きな拍手が贈られた。

ここで、校友の落語家・林家染太さん（平12学2文）が登場。「10回中5回目の乗船となると、お馴染みの方も増えてき



ました」と自己紹介。「関大丸とかけて大きな着物と解く。その心は着て（来て）みてよかった」などと笑いを誘った後、天神祭を祝い、母校益々の発展を祈念して、「打ちましょ（パンパン）、もひとつせ（パンパン）、祝うて三度（パンパン）」と全員で大阪締めを行い、以後は染太さんの名司会で進められた。

電飾が川面に映えだした6時過ぎ、奉拝船各船は順次川岸を離れ、いよいよ船渡御が始まった。

関大丸は、染太さんの手馴れ





逍遙歌を熱唱、名残惜しみつつ下船した。

第五回関大寄席 満席となりました

た呼びかけで、行き交う船や橋の上の見学者と次々と大阪締めで交歓、御鳳輦船は2礼2拍手1礼で厳かにお迎えした。
途中、応援団の演舞や連続して頭上にかかる大輪の花火に歓声をあげるなど船渡御を堪能し、着岸前の閉会のセレモニーでは運営を担当する中井邦夫事業部長が挨拶。応援団第93代リーダー部長の榎本一輝君のリードで

前号でご案内しました10月24日（土）開催の「第五回関大寄席」は、大好評のうちに満席となり、募集を締め切りましたので、お知らせします。

不審な問い合わせにご注意を！

以前にもありましたが、最近においても、学校や同窓会を騙り、校友の個人情報聞き出すとする不審な電話が、校友の実家にかかるケースが発生しています。

つきましては、こういった問い合わせに対しては、くれぐれも慎重に対応いただき、安易に情報を提供しないようお願いいたします。

関西大学校友会

一軸浩幸 前校友会会長逝去



一軸浩幸（いちじく・ひろゆき）前校友会会長・顧問が、8月7日に逝去された。79歳。

一軸氏は、昭和33年法学部卒業。在学中は新聞部に所属し、学友会委員も務めた。民間会社を経て昭和37年から関西大学校友会に2年間勤務。39年から学校法人村上学園の教諭となり、昭和43年司法試験合格。46年弁護士登録。62年一軸・山根法律事務所開設。日弁連・近弁連・大阪弁護士会関係では、代議員、理事、監事、常議員、財務委員長など多数の役職を歴任。

校友会関係では、昭和48年から常議員。広報・総務の各部長を歴任し、平成6年から副会長を2期務めた後、12年に代議員会議長に就任。15年から再度の副会長を務め、18年1月の臨時代議員会で第9代校友会会長に選出され、21年1月まで1期務めた。会長就任中には、母校創立120周年記念校友会総会や天神祭船渡御・奉拝船「関大丸」の就航などの事業を推進した。以後顧問に就任。また、関大大阪倶楽部理事長を平成23年春から27年春まで務めた。大学関係では、平成4年10月から学校法人関西大学評議員、12年10月から監事、20年10月から理事となり、24年10月顧問に就任した。

校友会の役職を離れて、一会員として出席する支部や職域会など関大関係の団体も多く、熱心な母校ファンとして、各組織ではよく知られていた。

「お別れの会」を10月5日（月）に 関西大学100周年記念会館で開催

故一軸浩幸氏の「お別れの会」が、10月5日（月）午後1時から千里山キャンパスの100周年記念会館（阪急千里線「関大前駅」南改札口徒歩3分）で開催されることになった。

学校法人関西大学、関西大学校友会、関大法曹会3団体の共催で、当日ご参列の方は、午後1時から3時の間に、平服にて自由にご来場いただき、献花の上、ありし日の故人との思い出を偲んでいただく形で執り行われる。

なお、故人の意思により、御香典、御供花、御供物ならびに自宅への弔問は固く辞退されている。

信頼の実績。保険のことなら、どんなことでもご相談ください。

スマホもOK！ネットでカンタンお申込み！



ネットde保険
@とらべる
＜海外旅行保険＞

ネットde保険
@さいくる
＜自転車保険＞

ネットde保険
@ごるふ
＜ゴルフ保険＞



<http://www.univlife.co.jp/insurance/>



UNIVLIFE

ユニヴ・ライフ 株式会社

保険事業部

吹田市佐井寺4丁目43-8 関大生協会館2階

※お電話でのお問い合わせは

TEL 06-6310-8686

FAX 06-6310-8685

【受付時間】9:30～17:30（土・日休み）

この伝統を、超える未来を。

横山 享史 (大阪府) 渡辺 美敏 (福岡市) 〔匿名〕三名 ◆四万円	荒木 一二 (堺市) 伊藤 泰弘 (三重県) 大澤 基宏 (千葉県) 大谷 敏博 (姫路市) 岡田 祥一 (高槻市) 岡本 勝弘 (奈良市) 小野 健 (千葉県) 垣内 宗和 (大阪狭山市) 河合 憲一 (堺市) 北川 善弘 (神戸市) 北野 行彦 (鳥取県) 北山 諒一 (八尾市) 小林 京子 (愛媛県) 堺 孝司 (愛媛県) 坂田 峰朗 (神戸市) 笹村 勲 (神戸市) 清水 明 (堺市) 白井 和彦 (八尾市) 羅川 康平 (姫路市) 善野 誠 (和泉市) 十河憲二郎 (高松市) 高城 丈夫 (吹田市) 田方 浩 (明石市) 田中 淑雄 (八尾市) 田淵 収 (宝塚市) 田村 壤夫 (大阪市) 田茂井謙典 (京丹後市) 寺本 浩之 (奈良県) 徳永 謹吾 (大阪市) 中井 哲夫 (箕面市) 中尾 優司 (西宮市)	仲村 孝二 (大分県) 中谷 明美 (宮崎県) 中山 芳樹 (広島市) 西村 貞行 (寝屋川市) 西山 哲郎 (教職員) 羽間 弘 (茨木市) 橋田 千和 (愛媛県) 廣口 智宜 (岸和田市) 福島 光宏 (神戸市) 古家真理子 (神戸市) 逸見 義則 (宇治市) 牧本 成俊 (豊中市) 松本 五平 (奈良県) 的場 一男 (大阪市) 村山 法幸 (奈良県) 森 務 (奈良県) 安村 和久 (富田林市) 矢野 秀明 (奈良県) 山高 栄一 (奈良県) 横井 有紀 (札幌市) 吉崎 和美 (茨木市) 吉田 敏弘 (鳥取県) 〔匿名〕六名 〔匿名〕三名 ◆三万円	小野 博 (香川県) 杜若 一夫 (向日市) 柏木 大造 (東大阪市) 葛馬 壽秀 (元教職員) 加藤 雅也 (名古屋) 金丸 隆司 (大阪市) 川崎 宗一 (八尾市) 河野 昌弘 (西宮市) 後藤 謙輔 (栃木県) 駒井 山士 (箕面市) 坂田 憲志 (岐阜県) 佐々木 和美 (山梨県) 志村 信 (島根県) 下隅 義征 (島根県) 武田 勝 (京都府相楽郡) 田中 隆治 (大阪市) 田中 光雄 (大阪市) 谷尾 公平 (明石市) 谷口 光夫 (明石市) 豊島 朱保 (教職員) 中村 孝治 (八尾市) 西原 正人 (福岡県) 新上 泰生 (大阪府泉北郡) 濱上 節子 (守口市) 平山 新一 (横濱市) 伏見 敏孝 (高松市) 藤本 浩三 (枚方市) 朴 寿徳 (姫路市) 増野 良彦 (さいたま市) 松田 健一 (東大阪市) 溝口 昭夫 (尼崎市) 宮崎 英弘 (石川県) 宮路 忠一 (新潟県) 矢野 隆美 (三田市) 山北 恒也 (西宮市) 山田 誠一 (大阪市) 山根 英明 (たつの市) 山本 仲次 (豊中市) 湯川 圭造 (川西市) 芳村 公義 (芦屋市) 〔匿名〕二名 〔匿名〕一名 追加工合	藤原 清 (泉大津市) 〔匿名〕一名 追加工合 ◆二万五〇〇〇円 川添 律夫 (神戸市) ◆二万二〇〇〇円 岩崎 英夫 (東大阪市) ◆二万二〇〇〇円 中村 恒男 (尼崎市) ◆二万円 青木 洋一 (神戸市) 青柳 誠司 (教職員) 青山 義弘 (滋賀県) 赤井 義宏 (神戸市) 赤井 里奈 (大阪市) 明石 善雄 (徳島県) 明尾 院司 (大阪市) 朝立 正人 (富山県) 足立 孝 (愛知県) 阿部 宏介 (群馬県) 阿部 孝志 (高槻市) 阿部 久明 (柏原市) 有岡 俊幸 (池田市) 安藤 輝次 (守口市) 生島 孝志 (千葉県) 池添 誠 (東京都) 池田 博文 (兵庫県多可郡) 池田 勝 (尼崎市) 石田 真里 (大阪市) 石塚 敏子 (神戸市) 井谷 功夫 (大阪市) 井筒 潮 (東大阪市) 稲田 絹代 (大阪市) 今井 春茂 (大阪市) 今井 良雄 (奈良県) 井森 恒一 (堺市) 岩崎 良一 (千葉県) 上田 典子 (姫路市) 内田 茂 (広島県) 宇都宮悦大 (愛媛県) 宇野 耕二 (吹田市) 浦元 雄次 (奈良市) 江川 直樹 (教職員) 遠藤 芳純 (宮城県) 大江 正隆 (福井県) 大熊 洋浩 (高松市) 大住 洋 (教職員)	大谷 一就 (茨木市) 大塚 義規 (神戸市) 大西 員正 (明石市) 〔匿名〕追加工合 岡野 満 (津市) 岡本 昇 (奈良県) 岡本 吉史 (奈良県) 置田 義男 (富田林市) 荻野 四郎 (岡山県) 奥井 保 (富山県) 〔匿名〕追加工合 奥田 誠 (城陽市) 奥村 潤 (神戸市) 鬼丸 貞彦 (神戸市) 尾上 喜彦 (箕面市) 織井 新 (西宮市) 柿木 佐知朗 (教職員) 籠谷 順司 (奈良県) 笠松 克彦 (鳥取県) 笠松 敏明 (鳥取県) 梶谷 春代 (島根県) 梶谷 博幸 (札幌市) 片岡 英清 (松山市) 片山 秀治 (長崎県) 兼良 幸樹 (宝塚市) 上谷 幸彦 (西宮市) 唐木 芳宣 (吹田市) 河合 保明 (芦屋市) 〔匿名〕追加工合 川北 真榮 (札幌市) 菅 昌司 (札幌市) 岸岡 隆晴 (京都市) 神田 輝彦 (奈良県) 北川 純二 (福井県) 木下 元重 (豊後市) 木本 和治 (大阪市) 黒江 高虎 (姫路市) 黒江 剛志 (枚方市) 桑村 秀典 (神戸市) 小泉 靖雄 (奈良県) 小杉 善也 (滋賀県) 小西 悠次 (篠山市) 小西 盛明 (茨木市) 小林 完二 (岡山市) 小山 実 (岡山市) 近藤 俊二 (岐阜県) 近藤 博 (秋田県) 齋藤 栄二 (元教職員) 齋藤 蔵 (名古屋) 阪井 悦治 (藤井寺市) 酒井 宏昌 (石川県)	榮田 貢 (たつの市) 阪本 治男 (宝塚市) 櫻井 一則 (埼玉県) 佐々木 慧 (名古屋) 佐藤 将男 (豊中市) 佐藤 薫 (加古川市) 〔匿名〕追加工合 篠原 誓一 (神奈川県) 篠原 淳 (横濱市) 篠原 茂一 (元教職員) 清水 稔 (宝塚市) 〔匿名〕追加工合 清水 義巳 (宝塚市) 下條 武男 (枚方市) 杉本 正寿 (富山県) 杉本 和英 (川西市) 寿崎 祐晃 (神戸市) 図所 不違 (尼崎市) 鈴木 浩樹 (神戸市) 鈴木 良造 (豊中市) 鈴木 龍慶 (高知県) 宗園 昇 (元教職員) 大岡 博 (奈良県) 高岡 和芳 (大阪府河内郡) 高田常三郎 (大阪市) 高西 一光 (高槻市)	高野 浩 (和歌山県) 高橋 善昭 (金沢市) 財田 雄介 (神戸市) 田栗 栄一 (鳥取県) 竹内 宏 (箕面市) 竹下 展行 (千葉市) 竹中 正人 (和歌山県) 田阪 令子 (神戸市) 多田 英五 (岡山市) 田中 英二 (豊中市) 田中 誠二 (神戸市) 田中 義幸 (徳島市) 谷内 勝利 (寝屋川市) 谷口 賢吾 (東京都) 谷口 晴彦 (大阪府) 谷口 真人 (奈良県) 谷口 泰貴 (東大阪市) 田林 道雄 (西宮市) 辻井 雄介 (神戸市) 辻本 亨 (河内長野市) 辻本 平八郎 (奈良県) 辻本 純成 (奈良県) 津山 豊 (京都市) 出口 謙司 (大阪市) 〔匿名〕追加工合
--	--	--	---	---	---	--	---

12

この伝統を、超える未来を。

「創立130周年記念事業」の概要 来年秋の竣工めざし既に着工の事業も

平成28年11月4日、創立130周年の日があと1年ちょっとに迫ってきた。「伝統への自信 未来への考動」『学縁』を世界に広げよう」をコンセプトに策定された5つの記念事業。「梅田キャンパスの開設」が加えられ、現在6つの記念事業として推進されているが、来年秋の完成を目指して既に工事に着手しているものもある。

6月に改訂された「創立130周年記念事業趣意書・募金のご案内」は、完成イメージ等を掲載して記念事業の概要を分かりやすく紹介している。

改めて記念事業の概要（要旨）を紹介する。

この新たなアクセス・エリアの創出により、教育・研究をはじめ、更なる社会連携の推進や地域貢献活動への寄与など、地

域と学園が共に発展できるような「まちづくりの推進」にも取り組んでいきます。



■関西大学グローバルフロンティアプログラム（KUGF）の開発・提供による「次世代グローバルリーダー」の育成

文部科学省が提唱するグローバル人材育成を見据え、本学学生が、国際社会の各分野で活躍できる人材となるために必要な専門的知識や技能を修得し、グローバルシン（場面）に必要な高度の言語運用能力・実践的コミュニケーション力・国際的課題解決力を獲得できるよう、各種の専門的プログラムを開発・提供します。

また、学部教育との連携によって学生の国際的適応力を高めるほか、KUGFや各学部・研究科独自のプログラムなどを助成対象とする「グローバル教育推進奨学金・援助金（仮称）」の創設を検討するなど、社会が求める国際感覚溢れる「グローバルリーダー」の育成に努めます。

このセンターは、本学理工学系の先端研究に加え、マーケティング・リサーチ等の社会科学系の分野も配置し、自然科学系・社会科学系の枠組みを超えた教員・学生が企業等の皆さんと対話・交流できる機能等を持つ本格的なイノベーション創出拠点となります。

社会連携部および先端科学技術推進機構等との強固な連携のもとに、インキュベーション機能、ベンチャー促進機能等も兼

科学技術総合立国を標榜する我が国の喫緊の課題は、国際競争力の向上に資する革新的なイノベーションを創出することにあります。

■「関西大学イノベーション創生センター」の設立・先進的な産学官連携の共同研究拠点に（9億5千万円）

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部

株式会社富士通
マーケティング
（匿名）一社
◆四〇〇万円
大成温調株式会社
◆三〇〇万円
株式会社NPC
コーポレーション
大阪装備工業株式会社
八千代電設工業株式会社
◆二〇〇万円
関西船用株式会社
◆一五〇万円
昭栄通信工業株式会社
◆一〇〇万円
岸和田観光バス株式会社
ミズノ株式会社
◆五〇万円
株式会社社建
株式会社太陽光
◆二五〇万円
株式会社大気社
◆二〇〇万円
日本シリコ工業株式会社
◆一〇〇万円
関西総合情報研究所
弘進商事株式会社
日本板硝子
環境アメニティ株式会社
◆五〇万円
株式会社ケイルック
藤本昇特許事務所
◆三〇万円
ベルリッツ・ジャパン
株式会社
◆二〇万円
野村不動産株式会社
追加合計

団体
◆五〇〇万円
関西大学体育OB・OG会
◆三〇〇万円
関西大学北陽高等学校・中学校PTA
関西大学経済人クラブ
◆一〇〇万円
関西大学第一中学校PTA・第一高等学校教育後援会
◆五六万六〇〇〇円
関西大学秀麗会
◆五〇万円
関大大阪倶楽部

池田泉州銀行関大会
◆三〇万円
関西大学体育会テニス部
自調会
◆二万二〇〇〇円
みおつくし草の集会
◆一八万八〇〇〇円
名誉教授下間頼一先生の米寿を祝う機械設計研究室同窓生一同
◆一〇万円
JR関大会
関西大学女子秀麗会
関西大学校友会茨木支部
関西大学中国語教材研究会
◆九万七〇〇〇円
物流関大会
◆五万八〇〇〇円
関西大学校友会名張支部
総会参加者一同
◆五万円
竹中工務店葦の集会
守口市役所純正会
◆四万円
関大天六
三団体合同ゴルフコンペ

◆三万円
関西大学書道部BOG会
天王寺支部 役員一同
◆三三三円
平成27年度教育後援会
総会参加者有志一同
現物寄付
・鈴木龍光書「JAPAN」
「ASUKA」
（創立130周年記念事業特別記念品として）
関西大学千寿会

育まれてきた大学であり、「なにわ・大阪」に関する豊富な学術資産と、密接な地域連携に基づく研究実績を有しています。これを基盤に平成22（2010）年に「大阪都市遺産研究センター」として文部科学省の大型補助金（私立大学等戦略研究基盤形成支援事業）にも採択され

■「関西大学なにわ大阪研究センター」の設立（大阪文化の検証と次世代への継承として）（5千万円）

ね備えた日本有数の産学官連携・共同研究拠点を形成します。さらに、企業等の研究部門を誘致させていただき、研究者・技術者の皆様方との共同研究も促進するなど特徴的かつ持続可能な研究成果を世界に発信する「研究ハブ大学」となることを形成し、産学連携に強い関西大学をめざします。



復元CG（大正中期の角座付近）

また、既存の附置研究所をはじめ近畿の大学、自治体、企業、商店街、NPO等との学術的な連携を推進し、21世紀におけるネットワークとしての「大阪研究の拠点」として活動し、その成果を国内外に広く発信しています。

この「なにわ大阪」をキーワードに、人文、社会、情報、防災、理工学等の各分野を統合した「総合大学」の観点から、持続的な研究拠点を形成する一大企画として「関西大学なにわ大阪研究センター」を新たに設立します。

このセンターには、大阪文化の検証と次世代への継承という大きな期待が寄せられています。大正期・道頓堀のCG製作など大阪研究における我が国の代表的な拠点がこの関西大学に存在することを高らかに宣言し、今後とも大阪の歴史と文化を愛する多くのファンを魅了し続けてまいります。

また、奨学生会「草の葉倶楽部」を設立し、現役奨学生と卒業生・修了生を会員とする「学縁」を構築していきます。さらに、学社融合型の課外活動「NPO法人関西大学カイザーズクラブ」を設立し、学生のフロンティアスピリットを育成します。

また、奨学生会「草の葉倶楽部」を設立し、現役奨学生と卒業生・修了生を会員とする「学縁」を構築していきます。さらに、学社融合型の課外活動「NPO法人関西大学カイザーズクラブ」を設立し、学生のフロンティアスピリットを育成します。

また、奨学生会「草の葉倶楽部」を設立し、現役奨学生と卒業生・修了生を会員とする「学縁」を構築していきます。さらに、学社融合型の課外活動「NPO法人関西大学カイザーズクラブ」を設立し、学生のフロンティアスピリットを育成します。

また、奨学生会「草の葉倶楽部」を設立し、現役奨学生と卒業生・修了生を会員とする「学縁」を構築していきます。さらに、学社融合型の課外活動「NPO法人関西大学カイザーズクラブ」を設立し、学生のフロンティアスピリットを育成します。



●梅田キャンパスの開設（平成28年10月予定、大阪市北区鶴野町）
＊本事業の所用資金は、天六キャンパス売却資金から充当します。

- 記念事業所要資金総額 40億円
- 募金目標額 20億円
- 自己資金 20億円
- 梅田キャンパスの開設（平成28年10月予定、大阪市北区鶴野町）
- ＊本事業の所用資金は、天六キャンパス売却資金から充当します。
- 各種事業を実施していきます。その他各種事業として予定している行事等
- ・創立130周年記念式典の挙行（平成28年11月4日に学内にて開催）
- ・130年のあゆみ及び130周年記念誌の刊行
- ・創立130周年記念DVDの製作
- ・記念植樹 など

思い出がよみがえる

ANSAI
KUグッズ
NIVERSITY

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生協同組合 Tel: 06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

凜風館3F関大グッズコーナーにて販売しております



私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 今年も1件採択で 件数は私大トップ

大学の経営戦略や研究戦略に基づき、各大学が特色をいかした研究を実施するため、国がその研究基盤の形成を支援する文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に、関西大学から申請した次の1件が採択された。

この事業における本学の選定数合計は22件で、全国の私立大学でトップの選定数となっている。

今回の支援区分は「研究拠点形成する研究」で、研究期間は平成27年度から31年度までの5年間。

研究組織名「3次元ナノ・マイクロユニット、研究代表者（申請時）＝先端科学技術推進機構 システム理工学部教授 青柳誠司、研究プロジェクト名「3次元ナノ・マイクロ構造の創成とバイオミメティクス・医療への応用」。

日本学術振興会の推進賞 芝田隼次名誉教授が受賞

先端科学技術推進機構研究員の芝田隼次名誉教授が、独立行政法人日本学術振興会「平成27年度ひらめき☆ときめきサ

イエンス推進賞」を受賞した。

同会では、我が国の将来を担う子どもたちの科学する心を育み知的好奇心の向上に大きく貢献した研究者を讃えるとともに、科学研究費助成事業による研究成果を積極的に社会・国民に発信することを奨励する目的として、「ひらめき☆ときめきサイエンス」ようこそ大学の研究室へ（KAKENHI（研究成果の社会還元・普及事業」において継続的にプログラムを実施した研究者を表彰している。

今年度は、プログラムを5回以上実施したことのある実施代表者の中から25人が受賞。芝田名誉教授は、2006年度から5回にわたって「環境にやさしい資源リサイクルの最前線」をテーマとしたプログラムを実施してきたことが評価され、本学初の受賞となった。

林原美術館と連携協定 貴重資料を高精細画像に

関西大学は、一般財団法人林原美術館と、相互の人的・知的資源の交流および物的資源の活用により、研究・教育を通じて相互に協力し、社会に寄与する

ことを目的に連携協定を締結することで合意し、8月26日に千里山キャンパスで調印式を行った。

林原美術館は、1964年に開館した岡山市で最古の美術館で、岡山藩主池田家旧蔵の調度品をはじめ、刀剣・甲冑・絵画・書跡・能装束・螺鈿・蒔絵・陶磁器など、国宝3件・重要文化財26件を含む約1万点の貴重なコレクションを収蔵している。

一方、関西大学では「地域文化・芸術資源可視化（VOLCANO）研究」を目的とする研究プロジェクトユニットが、最新のIT技術（超高精細デジタル画像化）を用いて、一般人にもわかりやすい新たな地域文化、芸術資源の鑑賞機会を創生している。この技術を用いて、既に同美術館所蔵の貴重な「平



家物語絵巻」の一部を約40倍の高精細画像として拡大し、これまで判別が不可能であった画像細部を鮮明に可視化することができた。

マルチリンガル・イマージョン学習スペース 3カ所目の学生が利用できる国際的施設開所

関西大学では、将来留学を考えている日本人学生を主な対象とした学内留学ができるグローバルな空間として「マルチリンガル・イマージョン学習スペース（通称「Mi-Mi-Roomルーム」）を、総合研究室棟1階に創設した。

「Mi-Room」は、外国語で活動する機会を学生のキャンパスライフに取りこみ、異文化コミュニケーションを身近に体験することで、グローバル意識を高め、将来的な留学や外国語を活用した就職・進路を実現するための支援を行う国際的な空間で、専属スタッフへの留学相談や留学生との交流などができる教室と、海外大学の講義の受講および海外大学の学生とのマンツーマン会話など、ICTツールを利用した遠隔交流ができる教室の2教室で構成されている。

大学では、すべての学生がグローバル社会に対応するための

この取り組みが、持続的に貴重な資料や美術品の研究に応用され、美術館として新たな魅力ある展示につながることが期待されている。

コミュニケーション力と語学力を修得できるように、英語による授業科目の拡充、少人数での英語教育の充実に加え、学生が主体的に異文化交流・国際体験ができる環境を整備しており、学生が利用できる国際的施設としては、「国際部交流室」「凜風館1階コラボレーションコモンズ内グローバルエリア」に次いで3カ所目となる。

交換受入留学生の修了式 29校の53人に修了証書

千里山キャンパスで7月17日、交換受入留学生の平成27年度春学期修了式が挙行された。今学期の修了生は、18カ国・地域29校の協定大学からの受入留学生53人で、前田裕国際部長から激励の言葉を添えて修了証書が授与された。

修了生代表は、挨拶で「私にとってここで出会った友達は素晴らしい宝物。言語や文化が違



とてもお互いに理解し合うことができる。必ず将来みんなと再会したい」と述べた。

式典後には歓送会が行われ、留学を継続する交換留学生や日本人学生、教職員が修了生の前途を祝した。

「進学ブランド力調査」志願度・知名度で第1位

リクルート進学総研調べの「進学ブランド力調査2015」が7月中旬に発表され、関西大学は関西エリアの「志願したい大学ランキング」「知っている大学ランキング」で第1位になった。「志願したい大学ランキング」は、関東エリアの明治大学の7年連続を上回る8年連続で第1位を獲得している。ただ、男女別では、男子1位を近畿大

学に譲り、女子では関西学院大学が同率1位に並ぶなどの変化も見られる。

この調査は、関東・東海・関西エリアの高校に通っている2016年3月卒業予定者7万4000人を対象として実施されたもの。

その他、イメージ項目別ランキングでは、「校風や雰囲気が良い」が8位からトップに、「教育方針・カリキュラムが魅力的である」が18位から5位に、「学校が発展していく可能性がある」が12位から10位に、「就職に有利である」が11位から8位に、「おしゃれな」が10位から7位にそれぞれアップしている。「クラブ・サークル活動が盛んである」は前年と同じ2位で、「国際的なセンスが身につく」は残念ながら10位までのランクには入っていない。

関西大学提携講座を開講「宗教から世界を知ろう」10月から毎日文化センターで

毎日文化センター（大阪市北区梅田、毎日新聞ビル2階）では、文学部比較宗教学専修の専任教員を講師に関西大学提携講座「宗教から世界を知ろう」を10月から開講することになった。これまでも文化センターの講座に、先生方が個人で出講す

桂文枝氏の叙勲受章記念祝賀会を開催 関大関係者230人が心から祝意

今年春の叙勲で旭日小綬章を受章された桂文枝氏の関大関係者による叙勲受章記念祝賀会が、7月17日にリーガルロイヤルホテル・ロイヤルホールで開催され、大学、校友会、教育後援会、関大関係各団体から230人が出席、挙って祝意を表するとともに今後の活躍を祈った。

当日は台風11号による大雨の荒れた天気となったが、出席者は続々とつめかけ、定刻に開会。学歌斉唱の後、池内啓三理事長が発起人を代表して挨拶。池内理事長は、文枝氏の略歴を紹介しながら上方落語協会会長として協会の社団法人化や定席亭天満天神繁昌亭の開設などの功績を紹介した。

東京から駆けつけた参議院議員・国土交通副大臣の北川一成氏と人間健康学部長で日本笑ひ学会会長の森下伸也教授が、それぞれ「学生時代からのファン。創作落語のゴルフ夜明け前には感銘をうけた」、「師匠は私にとっては雲の上の人。海外公演で風邪をひいて帰国したその足で、客員教授として講義に来てくれた」など思い出

を織り交ぜた心のこもった祝辞を贈った。

花束の贈呈を受けた文枝氏は「関西大学が私を育ててくれたと思っている。今回の受章は3月19日に内示を受けたが、その日に米朝師匠が亡くなられ、バトンを渡されたと感じた。本日のお土産に関大マグマの歌詞を染め抜いた手拭を用意した。受章はスタートだと思っており、関大マグマの魂で上を目指して頑張っていきたい」と謝辞を述べた。

祝宴は、寺内俊太郎校友会長の発声で乾杯し開宴。文枝氏は、それぞれのテーブルを回りながら気軽に記念撮影に応じ、出席者と歓談した。

暫らくして学生服姿で登場した文枝氏は、「関大では良き先輩、友人、後輩に恵まれて感謝している。さらに吉本興業に入っても先輩、後輩

に世話になっている。関西大学を忘れず、さらに精進していく」と抱負を述べ、会場は応援の大きな拍手に包まれた。

全員輪になって肩を組み道遙歌を合唱後、楠見晴重学長が「来年130周年を迎える関西大学は、文枝さんのような素晴らしい先輩を数多く輩出してきた。これからも有為な人材を育てていきたい」と閉会の挨拶を述べ、閉宴となった。



ることは多くあったが、専修コースの専任教員が揃って出講し、提携講座として開講されるのは珍しい。

今回の講座は、「世界には多くの宗教があり、文化や生活に影響を与えている。世界遺産や観光スポットの多くが宗教施設であるように、歴史や芸術の発展に関わってきた。世界の宗教を知ると、旅や読書、美術鑑賞の楽しみが深まり、ニュースの見方が変わる」との趣旨で開講され、講師は井上克人教授、小田淑子教授、宮本要太郎教授、酒井真道准教授の4人。

開講日は、今年10月から来年3月までの第4土曜・午後1時半～3時の計6回で、講師とカリキュラムは次のとおり。

①10月24日 世界の宗教と日本人の「宗教」観／宗教の歴史

と基本構造（宮本）

②11月28日 一神教①ユダヤ教とキリスト教／それぞれの歴史と教義（小田）

③12月26日 インド仏教と日本仏教／「成仏」について考える（酒井）

④1月23日 一神教②イスラーム／基本教義と律法、現代とイスラーム（小田）

⑤2月27日 日本人の宗教意識／習俗に息づく神祇信仰と神道（井上）

⑥3月26日 現代日本において問い直されている「宗教」／葬式と墓、社会貢献、カルトなどを題材に（宮本）

受講は、6回通し（1万2960円）でも好きな回（1回2490円）だけでも可。

問合せは同センター（06-6346-8700）まで。

関西大学第一高等学校における入学試験に関する報道について

今般、テレビ・新聞各社等において報道されました、関西大学第一高等学校の平成27年度入学試験について、「迷惑・ご心配をおかけしており誠に申し訳ありません」

今後、受験生および関係者の皆さま方には誤解を招くことがないよう、入試要項等で説明を尽くすと共に、更に透明性を高めるよう努めてまいります。

平成27年8月21日

関西大学第一高等学校

校長 橋本 定樹

日本学生選抜ライフル射撃選手権大会 女子10m A R立射40発で団体優勝飾る

7月4～5日に埼玉県で行われた第11回日本学生選抜ライフル射撃選手権大会で、射撃部女子が女子10m A R（エアライフル）立射40発競技で団体優勝を果たした。

男子は50m3姿勢120発競技で団体2位に入賞し、団体総合では女子が3位、男子が4位だった。

また、個人では、女子10m A R立射40発競技で阿部美咲（文2）が3位、女子50m3姿勢60

全日本なぎなた選手権で 林田智笑が個人の部2位

8月9日に山口県立下関武道館で行われた第54回全日本学生なぎなた選手権大会で、なぎなた部の林田智笑（人3）が、試合競技（個人の部）で2位に入賞した。



西日本ソフトテニスで 女子が優勝4連覇達成

7月11～14日に徳島県で行われた平成27年度西日本学生ソフトテニス選手権大会の大学対抗戦（団体）で、ソフトテニス部女子が優勝し、同大会4連覇を果たした。

また、女子ダブルスでは佐々木和（社3）・岡田菜帆（社2）のペアが優勝した。



▲佐々木（右）、岡田ペア

少林寺拳法部の山岡と 洲崎が関西学生で優勝

7月11日に兵庫県で第53回少林寺拳法関西学生大会が行われ、運用法・女子の部で少林寺拳法部の山岡彩（化生3）、男子重量級の部で洲崎恒平（シス



理4)が優勝した。
また、男子中量級の部で高津研吾(経3)が2位に入賞した。

西日本ソフトボール大会 男子が42年ぶりの優勝

8月8～10日に京都市で行われた第47回西日本大学ソフトボール選手権大会で、ソフトボール部男子が優勝を果たした。男子の西日本制覇は42年ぶり2回目となる。



関西水泳競技大会で 3人が4種目で優勝

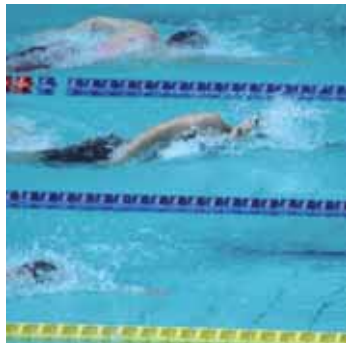
7月18～19日に大阪府なみはやドームで行われた関西学生選



▲上田



▲敦賀



▲高木

手権水泳競技大会で、水上競技部の上田奈美希(人4)が、女子200m個人メドレーおよび女子400m個人メドレーで優勝を飾った。

また、敦賀直哉(人3)が男子200m個人メドレーで、高木理加(人2)が女子400m自由形で、それぞれ優勝した。

航空部が創部85周年で新グライダー導入 記念式典は11月8日に百周年記念会館で

航空部は、昭和5年12月に

る。

関西大学航空研究会として発足した。その年の3月、民間航空の普及の中核として学生航空団体の設立を企画した学生航空連盟設立準備委員会は、全国の大学・専門学校に檄を飛ばしていた。その檄文の一節には「空……。無限の拡がりと果てしなき深さをもつて、また地上の凡ゆる高低、広狭の差別を超越して永久に静かに眠る大空！これこそ若人の憧れでなければならぬ」とあった。

歴代の先輩部員たちは、その時代、時代を輝かしい戦績で飾りつつ、学連関西支部の役員としても活躍し、航空部の基盤を固めていった。昭和13年1月には本学専用のグライダー練習場が淀川右岸長柄橋河川敷に開設されている。

終戦により一時廃部されたが、26年に日本の空の日本人への自由が決定されると、27年3月には航空部再出発の発会式が行われ、6月の日本学生航空連盟の結成に参加。その後、全国学生グライダー選手権大会で2度の優勝を飾るなど、輝かしい戦績を収めている。

歴代の所有機は、昭和38年霧ヶ峯式MITA3 ソアラ複座機(千里I号)、44年西ドイツ製Ka6E ソアラ単座機(千里II号)、49年西ドイツ製スタンダードリベレ ソアラ単座機(飛燕、平成6年ドイツ製ASK23 ソアラ単座機(疾風)などだが、今年、85周年記念事業の一環として、OB・OG諸氏の多大なご尽力と、大日本武徳会、泉屋メモリアルホール、和光菴、大阪ソニー会、長谷工コーポレーションなどの企業、学連関西支部・東海支部OB「Bダッシュ会」諸氏のご支援によって新鋭競技機が導入された。ドイツ製デスカス ソアラ単座機(紫燕)で、11月8日(日)午前11時半から100周年記念会館で開催される記念式典で命名披露式が行われる。



佳節にあわせ、現役生たちも、第10回関関同立対抗グライダー競技会での個人・団体総合優勝、第32回久住山岳滑翔大会での全国優勝と輝かしい成績を挙げてくれている。グライダーは、男女・経験の有無を問わず全ての若人が楽しめるスポーツです。これを機に更なる部の発展を図るため、OB・OG会も尽力していきます。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

(OB・OG会会長 川口敏寿)

関西賞典障害馬術大会 原が優勝、福留が3位

7月19日に兵庫県三木ホースランドパークで行われた第50回関西学生賞典障害馬術大会で馬術部の原名月（人2）が優勝し、福留健志（文2）が3位入賞を果たした。



佐賀市と久留米市で無料法律相談 地元校友会支部に多大な協力受ける

関西大学法律相談所（所長＝占部洋之法科大学院教授）は、学生の夏期長期休暇を利用して毎年各地で移動無料法律相談を実施している。

今年、近年の相談件数の低迷から脱するために、校友会の協力を見込める九州で開催することを決め、8月29・30日に佐賀県佐賀市の佐賀市民会館と福岡県久留米市の市役所で、顧問である多治川卓郎法学部教授ら教員やOB弁護士指導のもとに1回生から4回生までの学生30人が無料法律相談を行った。法律相談所が九州で無料法律相談を開催するのは、平成15年の佐賀県武雄市と長崎県平戸市、平成22年の熊本県八代市と熊本市に次いで3回目である。



相談前日の8月28日には、久留米市で福岡千里会会員の向原栄太郎弁護士から相談に参加する学生に法律相談の仕方や勉強方法などについて講演いただいた。この無料

法律相談では、佐賀市と久留米市に相談会場の提供と後援をいただき、佐賀千里会と福岡千里会久留米地区の校友にはポスター掲示や新聞広告など広報活動に多大な協力をいただいた。

29日の佐賀相談では、佐賀千里会の方から差し入れをいただいた。また、校友会九州地区支部連合会の花田正利会長にも関西大学フェスティバルin九州の準備で多忙の中、色々と尽力を賜った。

お陰で両会場での相談件数は合わせて35件と盛況であり、30日の相談終了後の懇親会には花田会長はじめお世話になった地元校友にも参加していただいて交流を深め、参加した学生一同、今後より一層社会に貢献できるようにさらに学修に励み研鑽を積む決意を新たにしたい。

（関西大学法律相談所）

関西学生法律討論会で 千里山法律学会が3位

6月13日に千里山キャンパスで行われた第67回春季関西学生法律討論会で、千里山法律学会が法律討論会立論の部で3位入賞を果たした。

また、6月6日に関西学院大学上ヶ原キャンパスで行われた関西学院大学内法律討論会では、質問の部で山本真広（法

2）が優勝し、立論の部で千里山法律学会が団体2位。

野球の秋季リーグ関関戦 10月24日・25日に開催

体育会各部隊は、秋のシーズンが始まり、9月初旬には既にリーグ戦が始まっている部もある。

2年連続明治神宮野球大会への出場を目指す野球部は、9月12日、13日の近畿大学戦を皮切りに秋季リーグ戦に突入した。より多くの校友の応援を期待して、リーグ戦日程を掲載する。

なお、体育会各部隊の試合日程は、大学のホームページ「関大生の活躍」、校友会ホームページ「関西大学スポーツ振興グループ」で検索できる。

■野球部（関西学生野球連盟リーグ戦）

対同志社大学 9月26日（土）13時、27日（日）10時30分
ほつともつフィールド神戸
対京都大学 10月4日（日）13時、5日（月）10時30分

大 阪市南港中央野球場
対立命館大学 10月14日（水）13時、15日（木）10時30分

大 阪市南港中央野球場
対関西学院大学 10月24日（土）13時、25日（日）17時

大 阪市南港中央野球場
わかさスタジアム京都

（スポーツ関係の写真は、「関大スポーツ編集局」提供）

THINK PRINTING

印刷する会社から印刷を考える会社へ

東洋紙業高速印刷株式会社

〈本社〉 〒556-0029 大阪市浪速区芦原2丁目5番56号
TEL 06(6567)0511(代) FAX 06(6567)1539

広島営業所/九州営業所

パリ関大会

石井会長ら3氏の送別会を開催

最後は自然と母校の学歌大合唱

パリ関大会（石井裏会長）では7月6日に、この度帰国の決まりました石井会長、丸山紀子、そして内務省からOECD



への出向を終えられた松尾綱紀3氏の送別会を開催しました。今回は、遠方に在住する校友以外の12人は全員参加の大変盛況な送別会となりました。特に石井氏においては、長年にわたりパリ関大会を盛り立てていただき、帰国の途に発たれるのは寂しい限りです。

校友会本部から届いた機関紙や卓上カレンダーを手に、最後は自然と母校関西大学の学歌の大合唱となりました。

（薛 善子 setsu.yoshiko@gmail.com）

国際インターンシップ実習生との交流会

パネルディスカッションなどで充実図る

ロサンゼルス千里会

LA（ロサンゼルス 千里会（南城完治会長、会員15人）は8月8日にLA地区国際インターンシップ・プログラム（キャリアセンター主催）の一つとして、参加実習生らとの交流会を開催した。

の実施に合わせて開催している実習生の歓迎を兼ねた交流会は、これまでとは異なった形式で開かれた。インターンシップ・プログラムが開催されるロサンゼルス・トランス市内の中華レストランで例年開催していたが、実習生とOBとの交流



が十分でなかった点を反省して今回は新たな試みで行うことにした。

今年度の交流会には、大学から楠見晴重学長、母校名誉教授でもある北嶋弘一校友会副会長、キャリアセンターから乾友篤事務長と小西香菜子職員が参加して、LA千里会会員8人とともに実習生15人（男子学生3人、女子学生12人）を迎えて、トランス市内のレダック・デイトウェイホテルで夕刻6時半から交流会が開かれた。

まず第1部は実習生からの質問に答えるパネルディスカッション形式を採用し、小西さんの司会によって始まった。出席いただいたOB諸氏から海外在住における“やりがい”や“苦労話”、様々なステークホルダーとの関わり合いの中で感じた事柄などをそれぞれ紹介いただいた。その後、実習生から“海外で働くことのスキルとマインド”、“OBの皆さんがLAでなぜ働こうと思ったのか”、“海外で働く上で大切なこと”、“グローバル化の中で日本人学生に求めること”など活発な質問がなされた。

第2部は、OB諸氏と実習生が分散して各テーブルにつき、楠見学長による挨拶のあと、北嶋副会長の乾杯（実習生はノンアルコール）の発声で食事会に移った。予定の時間を1時間以上もオーバーして、10時過ぎにLA千里会南城会長の閉会の挨拶でようやくお開きとなった。

実習生たちは、宿泊先のホテルまでOB諸氏の家用車にそれぞれ分乗してお送りいただいた。今回のLA千里会の皆さんとの交流を通して、実習生達にはこれからの就職活動への心構えを確立することは勿論のこと、将来の職業を選択する上で何をなすべきか、考動（自ら考え行動する）の意識を高め、残りの学生生活において何事に対して

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5

Tel 06(6941)3306 URL: <http://www.obsf.co.jp>



も果敢にチャレンジしてくれることを願っている。

(副会長 北嶋弘一)
(白川敦 shirakawalax@gmail.com)

上海関大会

2つのプログラムで訪問の現役学生との交流会を実施

上海関大会 (横田和彦会長は、毎年母校の教育活動に対し温かいご支援、ご協力をいただいているが、今年も多数の校友が参加して、それぞれのプログラムで上海を訪れた現役学生との交流会を実施した。

8月7日には、経済学部の佐々木信彰教授による上海・復旦大学プログラムで参加した学生と上海関大会校友あわせて25人が集まり交流会を開催。

また、同21日にはキャリアセンター主催の国際インターシップに参加の学生とあわせて30人が集まり交流会を開催した。



学生にとっては、直に海外在住の卒業生と触れ合い、学ぶ機会を得るとともに、上海関大会の明るく楽しいムードに包まれて、充実した時間を過ごす良い機会となった。

(山本震一 yamamotos@shy-strading.com)

大幅に時間オーバー 12人集い楽しい例会

上海関大会では、7月8日に日本料理の「天の川」に12人のメンバーが集まり例会を開催しました。

いつものとおり大幅に時間をオーバーするほど、みなでワイワイガヤガヤと楽しい時間を過ごしました。

上海関大会は、隔月(奇数月)の第2水曜日を例会日として楽しく親睦交流を深めています。みなさんのご参加をお待ちしています。

(山本震一)

泰国千里会

法科大学院教授らとの懇親会開き6人が参加

8月10日から14日の間、早川徹法務研究科長、尾島史賢准教授(弁護士)、関大法科大学院修了生の西村智久弁護士、田代将彦事務グループ長が来泰され、タイ司法府、日本の現地企業等を訪問し、現地の情報収集を行うにあたり、8月11日に懇



親会を開催しました。

開催場所は、バンコクのセントラルワールド内にある「レムジャロンシーフード」というお店で、ラヨーン県にある海辺の本場の辛く美味しいシーフード料理店です。

泰国千里会(中村良三会長)からは6人が参加させて頂き、懇親会の場では、来泰者の方々の関大の海外展望を伺いながら、タイ在住10年以上の千里会メンバーを中心に、タイの歴史的背景、現状、法律や裁判の経験談等をお伝えし、和やかな情報交換会となりました。

関大出身の弁護士とタイの弁護士の1年間の交換研修プログラムも予定されているとのこと、当千里会としても関大の国際化に貢献出来るよう、今後もお手伝いさせて頂ければと考えております。

(安楽成司 anraku@sscth.com)

4人の新メンバー迎え 和気藹々の懇親会開く

泰国千里会は、6月26日に懇親会を行った。

今回の懇親会には、高橋さん(文84)が司るバンコク・らあめん亭で開催し、校友13人が集った。

今回は、女性2人を含めた4人の新メンバーの参加があり、

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

流体をコントロールするのが仕事です。TBC TABUCHI

タブチは水や空気の配管システムのトータルサプライヤーとして、これからもくらしの“あたりまえ”を影ながら支えています。

株式会社タブチ

詳しくはホームページへ▶▶▶

タブチ

検索

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号 TEL 06-6708-0150(代) http://www.tabuchi.co.jp/



いつもの和気藹々に新鮮な空気が加わり時間を忘れ大いに盛り上がった。
宴の終わりに皆から「学歌を歌おう!」と声があがり母校愛を感じるひと時であった。

**関西7大学ゴルフ対抗戦
関学に一步及ばず準優勝**
5月24日にレガシーカントリーで、恒例の関西7大学ゴルフ

台湾OB会

**李会長から参加者にプレゼント—第3回例会
留学生フェア—支援参加と来台者との懇親会**

台湾OB会 (李銘坤会長) 27
年第3回例会は、6月26日に台北市内の北平逸仙楼で行われた。今回の例会参加者には、李会長から2つのプレゼントが用意されていた。関大建学の祖、

対抗戦が開催された。
泰国千里会は、念願のユニフォームを揃え、中村会長のもと13人で優勝を目指した。
上位5人のネット合計の勝負で、小林、竹花、池内、安楽、大中が80台を出したが、関学にあと一步及ばず準優勝となった。しかし、プレー後のパーティでの盛り上りは1番であり、和気藹々とした楽しい会であった。

児島惟謙のラベルが張られた記念清酒と伝統の関関戦の応援Tシャツである。記念清酒は皆でグラスに注ぎ乾杯、また記念Tシャツは李会長からこの日参加した13人全員へのプレゼントで、



一人一人に手渡された。
台湾OB会は、例会を2カ月に1度開催しているが、それ以外にも、懇親会や歓送迎会などが頻繁に行われている。翌7月は、台湾で開催された留学生フェアに参加するために、国際部から4人、国際部台湾現地スタッフ2人、大阪在住の台湾人校友1人、合計7人が来台した。18日に台湾南部の高雄、19日に台北でフェアが開催され、多く

の校友も支援に駆けつけ、ここでも台湾OB会と本学との結びつきを感じられた。
そして、19日夜には、広東料理(飲茶)で有名な京星港式飲茶忠孝東店で、懇親会が開かれた。懇親会には9月から留学予定の学生も数人加わり、和やかで楽しい時間を過ごす事が出来た。

国際部の4人は、翌20日と21日に、新竹市にある玄奘大學、台北市内にある国立台湾大學、国立台湾師範大學や複数の語学学校を表敬訪問であったが、協定校である上記3大學への訪問は、台湾OB会李会長や他の校友も同伴し、実りある話し合いが行われた。

今回の例会は、校友会寺内会長をお迎えしての年に1度の台湾OB会総会で、大勢の校友の参加、再会が今から楽しみである。

(李銘坤 mkleec3648@yahoo.com.tw)

香港千里会

**日本に帰任の福家さん
8人が集い送別会開催**

香港千里会 (新井一弘会長)では、約2年の香港駐在を無事終えられ、日本に帰任された福家雄一郎さんの送別会を、7月2日にジョーダンにある金山海鮮酒家にて開催しました。



当日は急な開催ということもありましたが、8人の方々が参加され、福家さんの新たな門出をお祝いしました。

こちらの海鮮料理店では、日本では味わうことの出来ない巨大シャコのガリリック揚げ、ガリパの蒸し料理、ホタテのガリリックソース等を美味しく頂くことができ、香港生活の思い出話に花を添えることができました。同じ大学を卒業したものの同士、まさか香港で集まることのできることは、関大を卒業してよかったものと感じております。

関大の卒業生の方もしくは現役生で、香港に赴任・留学される方をご存知でしたら、是非当会の存在をお知らせくだされば幸いです。
(幹事 吉岡秀幸
(吉岡秀幸・酒井敦 hksen-rikai@gmail.com)

【本部関係】

- ▷ 関西大学フェスティバルin九州 9月27日(日) 12:00 福岡市・エルガーホール他
- ▷ 平成27年度校友総会 10月18日(日) 12:30 BIGホール100
- ▷ 第五回関大寄席 10月24日(土) 10:00 天満天神繁昌亭
- ▷ 平成28年校友会新年互礼会 平成28年1月15日(金) 18:00 大阪新阪急ホテル

【地域支部】

- ▷ 豊中支部総会 9月26日(土) 17:00 千里阪急ホテル(横昌正秀=06-6331-2275)
- ▷ 中・四国支部対抗ゴルフ大会 10月3日(土) 10:00 岡山市・金陵カントリークラブ(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
- ▷ 西淀川支部総会 10月3日(土) 13:00 ブリーゼプラザ8F会場(西山正明=06-6474-8587)
- ▷ 大正支部総会 10月3日(土) 18:00 さと すし半 大正店(鶴町学園・舟戸恒二=06-6552-0851)
- ▷ 西宮支部総会 10月3日(土) 18:00 ノボテル甲子園(栄興電気工業・小坂圭一=06-6491-5301)
- ▷ 天王寺支部総会 10月3日(土) 18:30 ホテルアウィーナ大阪(北原正浩=06-6771-9789)
- ▷ 宝塚支部総会 10月10日(土) 18:00 宝塚ホテル(塚本壽一=0797-85-1491)
- ▷ 大東支部総会 10月23日(金) 18:30 大東市民会館(小川不動産鑑定事務所・小川哲男=06-6448-2287)
- ▷ 生駒支部総会 10月24日(土) 11:00 近鉄生駒駅前・たけまるホール小ホール(7,000円。藤 俊弘=0743-79-5157)
- ▷ 三重大支部総会 10月24日(土) 11:00 プラザ洞津(森貞弘=059-231-0295)
- ▷ 鹿児島千里会総会 10月24日(土) 17:00 ジェイドガーデンパレス中国料理翠園(時任博幸=099-264-7806)
- ▷ 沖縄支部総会 10月24日(土) 18:00 ネストホテル那覇(大坪慎治=0798-898-4933)
- ▷ 神崎支部総会 10月25日(日) 10:00 香寺荘(中島正=0790-32-1400)
- ▷ 姫路支部総会 10月30日(金) 18:30 北京閣本店(池田屋気付=079-222-0235)
- ▷ 箕面支部総会 10月31日(土) 時間・場所未定(藤井稔夫=072-721-2064)
- ▷ 川西支部総会 11月1日(日) 18:00 アステ川西・市民プラザ(荒木敏雄=072-758-1787)
- ▷ 東成支部総会 11月6日(金) 18:30 KKRホテル大阪(神藤加代子=06-6971-2682)
- ▷ 山口千里会総会 11月7日(土) 時間未定 新山口駅前・山口グランドホテル(藤井宏紀=0834-63-1476)
- ▷ 岐阜千里会総会 11月7日(土) 16:00 グランパール岐阜(松村工業・疋田=058-271-3912)

- ▷ 愛知支部総会 11月7日(土) 17:00 名古屋観光ホテル(杉本会計事務所・杉本秋男=052-332-0211)
- ▷ 備後支部総会 11月7日(土) 17:00 福山ニューキャッスルホテル(福山包装・畦崎雅則=0849-43-1741)
- ▷ 平野支部総会 11月7日(土) 18:00 ホテル阪神(田中義信法律事務所=06-6316-0348)
- ▷ 揖龍支部総会 11月8日(日) 16:00 新舞子荘(太子保険事務所・山本雅俊=079-276-1283)
- ▷ 佐賀千里会「佐賀県青春寮歌祭」 11月14日(土) 13:00 佐賀市エスプラッツホール・佐賀市交流センター(松永久光=0952-53-2190)
- ▷ 宮城支部総会 11月14日(土) 17:00 ハーネル仙台(伊藤新=022-356-4474)
- ▷ 北勢支部総会 11月14日(土) 17:00 四日市シティホテル(中村民夫=0594-46-3019)
- ▷ 高石支部総会 11月14日(土) 18:00 レイクアルスターアルザ泉大津(陸田弘行=072-263-8954)
- ▷ 高知支部総会 11月21日(土) 18:00 高知会館(岡内紀雄=088-873-3270)
- ▷ 丹波支部総会 11月29日(日) 11:30 丹波の森公苑(足立清之=0795-82-1951)

【職域会ほか団体】

- ▷ 体育OB・OG会親睦ゴルフ大会 10月7日(水) 7:32 愛宕原ゴルフ倶楽部(西田弘幸=06-6672-2596)
- ▷ 応援団OB長柄会(II部)第72回総会 10月10日(土) 18:00 大阪新阪急ホテル(中村博司法書士事務所=06-6705-5678)
- ▷ 予科療燭会総会 10月17日(土) 正午 徐園(東浦栄一=06-6921-0874)
- ▷ 関大法曹会総会・司法試験合格者祝賀会 10月14日(水) 18:00 大阪新阪急ホテル(大宅法律事務所・太平信恵=06-6362-4155)
- ▷ 北陽高等学校90周年記念式典 10月31日(土) 15:00 大阪新阪急ホテル・紫の間
- ▷ 体育会スキー競技部創部90周年記念式典 11月7日(土) 11:45 ホテル日航大阪
- ▷ 司法書士関大会第55回総会 11月7日(土) 18:00 大阪キャッスルホテル(中村博司法書士事務所=06-6705-5678)
- ▷ 体育会航空部創部85周年記念式典 11月8日(日) 11:30 千里山キャンパス・100周年記念会館(川口敏寿=06-6763-1901)
- ▷ 会計人会研修会・総会 11月9日(月) 15:00 大阪キャッスルホテル(澄田進税理士事務所=06-6766-1255)
- ▷ 関大不動産鑑定士クラブ第40回記念総会 11月14日(土) 時間・場所未定(笠井不動産鑑定=06-6311-1205)
- ▷ 女子秀麗会ミニ講演会 11月14日(土) 13:00 千里山キャンパス・校友会会議室(能のお話。仁井ひろみ=06-6922-6806)














■ 正規取扱メーカー／ロータスカーズ、ケータハム、モーガン、アルファロメオ、フィアット、シトロエン
 <その他取り扱い車種> メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、
 ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、ブジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

ホームページ最新ニュース<What's New>毎日更新! で

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司
<http://www.jiron-auto.co.jp>
 〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
 ●営業時間:(平日)9:00~19:00 (土・日・祝)10:00~19:00 年中無休 ※年末年始は除く

北から 南から 《各地支部だより》

三輪真治支部長の新体制が発足

若い校友ら最多の出席者で交歓

8月1日、校友でもある伊丹慎治氏（昭57商）の経営する老舗「総本家橋本・そば蔵」で、徳島支部（山田仁支部長 27年度総会が開催された。当日は今年の最高気温を記録する勢いの猛暑であったが、総勢74人（来



賓7人・会員67人）が一堂に会し、賑やかに和気藹々とした雰囲気の中で議事は進められた。校友会本部からは寺内俊太郎会長、四国島内近隣支部・兵庫県淡路支部からも各支部長等の参加を頂き、寺内会長から母校の昨今の現状を交えての挨拶を頂戴した。

総会では、阿波踊り「関大連」への校友会からの参加呼びかけ、130周年事業の一つとして関大前駅から社会学部へ通じる新道に徳島の桜「蜂須賀桜」が植樹される予定で、関大と徳島県がますます強い絆で結ばれることが山田支部長より報告された。

続いて、今年度より新支部長に選任された三輪真治氏（昭55学法）による卓話、記念撮影を経て、懇親会へと日程を進めた。過去最高の人数を集めた今回は若い校友も多く、積極的に先輩校友と交流する姿が印象的

だった。今年度より新体制になるが、引き続き徳島支部校友会員の支援の下、当支部が更に盛り上がりつついくことを期待させる総会になった。

（幹事長 松下浩太郎・平1社
（員出宏文 0883-24-0396）

写真入りの事業収支報告書 一目でわかる活動状況

27年度の宮崎千里会（前村幸夫会長 総会を7月4日に開催した。

今年も新メンバーが3人参加し、平成卒業の出席者が過半数となり、宮崎転勤中の会員や家族同伴での参加者も増えてきて

いる。これも、事務局が中心となり、新年会、ゴルフコンペ、海を楽しむ会など、年間を通して若者が参加しやすい行事活動に取り組んできた成果である。

総会では、事業収支報告と年



間行事を写真入りで掲載したパンフレットが配布され、一年の活動状況が一目で分かるようになった。ここにも本会の若返りの一端を見ることが出来る。渡邊校友会副会長からも、「是非、今後もこのような活動が続けてほしい」と激励の言葉をいただいた。

会は、前村会長の事業報告や来賓挨拶が行われ、福岡千里会の花田名誉会長からは、130周年記念事業の行事として今年9月開催の「関西大学フェスティバルin九州に是非参加を」と挨拶があった。

総会後、例年通り懇親会となった。大学周辺の変わり様や、学生気質の変化などの話に花が咲いたり、お互いの近況を確認したりして親睦を深めあった。

宮崎千里会では、若手会員や女性会員の参加を大歓迎します。是非、「宮崎千里会」で検索し活動をご覧になり、参加をお願いします。（竹田浩昌・55学工
（前村幸夫 0985-28-2232）

今の学内状況をDVDで 会場は校友経営洋食バー

7月11日、佐賀千里会（光武繁会長）の集いを開催した。今年度は校友真柳直樹氏が経営する洋食バー「酔美」を会場とした。冒頭に8月に開催される無料



法律相談についての説明を、現役学生である相談所の池田所長、久井所長代理にしてみたい、そのまま集いの前半に参加いただいた。現役の学生と話せる機会が作れたことは大変有意義であった。

また、今年は真柳氏の提案で、現在の大学の様子がわかるDVDを校友会本部に依頼して、会場で放映した。参加者は自分の学生時代と比較しながら、時に懐かしく、ときに変貌ぶりに驚きながらスクリーンを見つめていた。今年の目玉企画となった。

その後、菅村副会長から提供いただいた賞品などを中心に自己紹介兼プレゼント選択を行った。また、各支部のゲストより提供いただいたお土産をじゃんけん大会で振り分けた。諸事情により例年より開催時



**麗しい女性の参加に憩う
夏の夜を賑やかに懇親**

7月4日、いつものようにお食事処「やぶきん」で、第32回の鳥取支部（上山忠久支部長の総会ならびに懇親会を26人の出席で開催した。本部事務局の成岡課長には、9年ぶりの参加でなつかしく、和やかな再会を過ごした。

先輩店主の手打ちそばに舌鼓しながら、新任の幹事長の軽妙

期を早めたため参加者が少なかったが、総じて臨機応変、大雑把でにぎやかな佐賀らしい集いが出来た。来年からは、8月後半を中心に集いを開催し、より多くの校友の参加ができるようにしたい。

（松永久光 0952-53-2190）

な進行で、関大グッズのゴルフ缶の賞品ゲットをめざして、今年のビンゴゲームも盛り上がった。

御夫婦、新婚妻、今春卒業の麗しい女性の参加もあり、話題豊富で夏の夕べを楽しく憩った。来年は応援団のチアガールを招聘し、盛大に逍遙歌を歌い、舞いたいな、との提案があった。

（上山忠久 0857-24-9228）

**地方教育懇談会に併せ
北海道支部総会を開催**

北海道支部（松本陽一支部長）は27年度総会を、一年中で一番いい季節の7月11日に札幌京王プラザホテルで開催した。

今年も、地方教育懇談会が開催されるのに併せて支部総会を開催した。来賓として楠見晴重学長、森本靖一郎顧問、三木允子校友会副会長らに出席いただいた。支部会員は遠く函館市、伊達市からも、総勢20人の支部会員が出席した。

総会は吉田雅典氏（62社）の司会で開会。事業報告は、ゴルフ部会について石田一幸氏（55商）から、昨年8月に開催された関西六大学札幌OBゴルフ対抗での優勝報告と、今年8月に開催される同大会への意気込みの発表があった。パークゴルフ



部会は大坊健二氏（39法）から6月に開催されたコンペには11人の参加があったものの会員獲得に難航している旨が、下地章二幹事長（41商）からは年間を通じての活動状況が、会計報告は石橋孝彦氏（52法）から報告された。

その後、来賓に出席をいただき、挨拶をいただいた。その中で本学の現況の報告があり、我々支部会員としては一番楽しみにしている場面だ。

楠見学長から、今年入学した新一年生の女子学生の比率は44・1%、商学部にはいたっては50%を超え、国公立、私立を含めても4番目だったとのこと。我々の昭和30年代から40年代の卒業生にとっては隔世の感を覚えた。また、志願したい大学では男子も女子も1位で、おしゃれな大学10番目にいたっては、

**総会場が一転寄席会場に
落語大学現役が賛助出演**

富山県支部（山本勝徳支部長）の27年度総会が7月12日、富山電気ビルで開かれ、来賓として本部から北嶋弘一副会長らを迎え、総勢25人が参加した。

学歌斉唱で始まり、山本支部長の歓迎挨拶に続き、高橋正幹

「この大学のことなの」になつてしまった。

森本顧問からは、質実剛健が似合わない変貌ぶりだが、国籍は変えられても学歴は変えられないと嬉しいお話があった。

三木校友会副会長からは、44万人の校友が国内250団体、海外は14の支部が活動している旨が報告された。我が支部も北の大地でささやかながら活動している。天六学舎がなくなった報告にはちよっぴり寂しさを感じた。

畑勝美事務局次長からは、違つた角度から、現学生の出席率が7・8割あり阪急では捌ききれないほどのこと。先輩の私どもにとっては、真面目な学生が多くなりこれも嬉しい限り。

最後は、年齢を感じさせない迫力ある森本顧問の口上により逍遙歌を歌い散会となった。

（松本陽一 011-778-6760）

（広報担当 大坊健二）

第2部の懇親会は、東郷事務局長の乾杯の発声で歓談がスタート。新卒の女性校友を含む初参加5人のスピーチでは、先輩校友から温かいヤジも飛び出し、笑いに包まれた。お楽しみ抽選会も好評だった。

奥井保校友の中締めにつき、本間嘉郎校友のリードで逍遙歌

事長が26年度の活動・収支報告および27年度の活動方針案を説明し、了承を得た。

北嶋副会長から女子学生が増えている母校の現況をはじめ、梅田キャンパスなど主な130周年記念事業と、その進捗よく状況の説明があった。

今回は、総会も少し趣向を凝らそうと、落語大学の現役部員による賛助出演を企画。総会会場を一転して寄席会場に変え、関大亭桜計（商3）による「二人ぐせ」で、しばし落語の世界に浸った。



を合唱。絆を深め、再会を期して閉会した。
 (高橋正 076-475-5726)

奥日光と鬼怒川温泉へ 参加者5人で1泊2日

千葉支部(神田万久支部長の同好会「風景写真と温泉を楽しむ会」(江口昌成会長・39学工)は5月16日、新緑の奥日光と鬼怒川温泉へ1泊2日の旅行をした。

参加者5人は千葉県津田沼駅前に集合し、江口会長運転のワンボックスカーに乗り込み一路首都高から東北自動車道を経て栃木県日光国立公園内にある戦場ヶ原を目指す。戦場ヶ原で、昼食をとった後、車を走らすこと30分、「赤沼」に到着。

「赤沼」からは自然環境保護のため車乗り入れ禁止、低公害バスに乗り換え「小田代原」展望台に到着。ここは湿原であったが長い年月の経過過程を経て草原になったところ。湯川の西側に広がる2キロにわたる広大な自然を背景に写真撮影。小田代原から次の写真スポット「湯滝」へ向かう。

湯滝は、華嚴の滝、龍頭の滝、と並ぶ奥日光の三名瀑の一つである。高さ70m幅25mの滝で、観瀑台があって、見上げる滝は迫力満点。さて、今日の撮



影の予定も終わり、宿泊先の「鬼怒川パークホテル」へ向かう。緑の木立に包まれた同ホテルは、自家源泉を利用した多彩なお風呂が堪能でき、夕食は地場食材を盛り込んだ会席料理に舌鼓。部屋に戻っての二次会、語らいの話題は尽きない。

翌朝「尚仁沢湧水遊歩道」へ向かう。遊歩道は溪流沿いの2、3キロのコースである。付近一帯は樹齢数百年にも及ぶ原生林におおわれている。高原山中からこんこんと湧き出す幾筋もの清らかな流れを作り出す、湧き水は環境庁より名水百選の認定を受けている。

今市で昼食をとり、江口会長からの提案で「古峰神社」へ行こうということになった。

「古峰神社」は霊験あらたかなパワースポットとしても有名な神社で、天狗の社と呼ばれるだけあって、御朱印帳にも天狗のイラストが描かれている。

最近、御朱印を集める「御朱印めぐり」がブームとなり、この人たちの間ではこの神社の御朱印は話題になっている。今回の記念にと御朱印をもらって帰途に着いた。(澤竹正明・36学芸)(神田万久 047-354-2091)

待ちに待った試飲タイム 夏季恒例ビール工場見学

東京支部(堀精一支部長)では、夏期恒例の「ビール工場見学懇親会」を6月20日に開催した。一昨年のサントリー武蔵野ビール工場、昨年のアサヒビール茨城工場に続き、今年は千葉支部(神田万久支部長)との共同開催としてサッポロビール千葉工場とビール園で行った。

15時にJR津田沼駅に集合して、送迎のシャトルバスに乗りし、東京湾に面するビール工場のビール園に到着。今回の参加



者は18人。

工場見学は、ツアーガイドの案内で①ビール主原料の麦芽とホップ、②麦汁が作られる仕込③酵母を加えて発酵、④林立する巨大タンクでの熟成、⑤ビールから酵母のろ過、⑥サッポロ生ビールの完成の工程を学んだ。

その後、待ちに待った生ビールの試飲タイムとなった。試飲は、ビールの適温と熟練の注ぎ方で出された生ビールのうまさをも十分に味わった至福のひとつであった。

工場見学に引き続きマリnhausに移動して、懇親会をスタートした。ジンギスカンと生ビールを十分に味わった後、「サッポロビールクイズ」と「じゃんけん大会」でサッポロビール賞品を獲得し、大いに盛り上がり校友の懇親が深められた。

(幹事 松尾貴博・平19法)(松尾貴博 03-3211-1670)

オペラの魅力改めて認識 若手情報交換会の講演で

東京支部では、7月13日に東京丸の内関西大学東京センターで第10回若手校友情報交換会を開催した。

今回は「オペラの魅力」と題して、公益財団法人東京二期会マージェティング部の松田善幸氏をお招きし、お話を頂いた。



参加者の大半は、本格的なオペラの鑑賞経験がなかったが、松田氏は、三大テノール(プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラス、ルチアーノ・パヴァロッティ)のTurandotの共演の映像など、本場のオペラのビデオやCD等を適宜織り交ぜた内容で話を進め、参加者が聞いたことがあるものが多く、オペラ楽曲が身近なものであることを、改めて認識することができた。

松田氏がオペラにはまつたきかけとして、「人間の声」の素晴らしさに魅せられた経験をお話頂き、オペラが音楽、美術、文学全てを含んだ総合芸術(声の芸術)であることなど、オペラの魅力を熟く語って頂いた。その後、16世紀末から始まり、時代ごと・国ごとに変遷を遂げたオペラの歴史について、それぞれの時代を代表する主な作曲家や楽曲、その特徴につい



**FC 岐阜対ジュビロ磐田へ
関大出身2選手の応援で**
岐阜千里会（松村公夫会長）は、7月22日に岐阜長良川競技場で行われたサッカーJ2のF

東京支部では、11月6日（金）にオペラ楽曲鑑賞会の開催を予定しており、こちらにも多くの校友の参加をお待ちしています。
次回の若手校友情報交換会は、10月21日（水）に今話題のマイナंबर制度を題材に開催する予定。是非ご参加ください。
（常任監事 村田樹二）
（村田樹二）090-4712-7137

て詳しく説明して頂いた。
最後に、松田氏の所属する東京二期会、日本でのオペラの歴史や、これから予定されている上演楽曲についても紹介があった。

C 岐阜対ジュビロ磐田の試合で、今年も母校関西大学サッカー部出身の選手の応援を行った。

岐阜県は、サッカーJ2のFC 岐阜がホームチームだが、毎年試合に来るジュビロ磐田に関大出身選手が在籍していることから、昨年に引き続き今年もアウェーチームの応援をした。

当日は、大変な荒れ模様となった雨中にも関わらず、集まった観客5008人の中に、岐阜千里会の松村公夫会長・井上直彦副会長・桑畑昌彦幹事・前畑忠憲幹事の4人の姿もあり、アウェーのジュビロ磐田側に校旗を掲げて陣取り、関西大学の小旗を振っての熱烈応援となった。

試合前半は、関大出身の25番DF・櫻内渚選手が先発出場したジュビロ磐田側が終始攻め込み、櫻内選手の華麗なパス回しもあったが0-0で終わった。後半はサイドが変わって風下に立ったこともあって、逆にFC 岐阜が猛攻を加え、2-0でFC 岐阜が勝利した。

ジュビロ磐田の6番MFの田中裕人選手は、残念ながら最後までベンチだったが、雨の多い中でも出れるようにウォームアップする姿は、とても感動的だった。

岐阜千里会のメンバーは、時

折強まる風雨にさらされながらも、両チームの応援と関大OB選手の活躍に一喜一憂の連続だった。

試合後には、ジュビロ磐田の櫻内選手・田中選手に対面し、岐阜千里会相談役の中村正先輩の会社が委託製造している『ウイダーインゼリー』と、岐阜名産の『八百津せんべい』を持参して、激励も行うことができた。

櫻内・田中両選手には、ジュビロ磐田のボール・ユニフォームと両選手の顔写真入り団扇にサインをしていただき、秋の岐阜千里会総会で校友へのお楽しみプレゼントに提供されることになった。両選手、ありがとうございまして！これからも、活躍をお祈りいたします。

（幹事 前畑忠憲）
（松村工業・正田）058-271-3912

スポーツ千里会発会式 11月7日総会時に第2回

愛知支部（杉本秋男支部長）では7月26日、名古屋クラウンホテルで体育会OB27人、組織部役員8人の総勢35人が一堂に会して、スポーツ千里会の発会式を行った。

佐々木組織委員長（昭40経）から、当会発会の主旨説明があり、その後、応援団、自転車部、野球部、柔道部、剣道部



等、各クラブの出身者がそれぞれ円卓を囲み、自己紹介や名刺交換をした。また、応援団の長井元団長（昭48社）の指揮下、応援団OB6人のパフォーマンス等で関大時代の青春に思いを馳せた。

野球部出身の法元英明氏（中日ドラゴンズOB）と最長老の大西慶太郎氏（昭31経、野球部OB）のウィットに富んだスピーチに会はずっかりなごんだ。

第2回の集まりは11月7日（土）の総会時に決定し、再会を約束して会は終わった。

（副支部長 塗木桂子・昭41文）
（杉本会計事務所）052-332-0211

11月28日（土）に総会開催 「ホテルリガレ春日野」で

奈良県関大倶楽部（松谷幸和会長）では、8月19日に月日

亭近鉄奈良駅前店で総会開催に向けての役員会を開催した。
当日は、19人の役員が出席。倶楽部顧問の前川清成参議院議員にも東京から駆けつけていただいた。

役員会では、総会を11月28日（土）午後4時からホテルリガレ春日野（旧春日野荘）で開催することを決定した。その他、本年度の事業計画とホームページの開設、規約の改正など、すべての議案が全会一致で承認され、倶楽部のメイン事業である総会の開催に向けて動き出した。

奈良県関大倶楽部は、会員相互の親睦をはかることにより、会員の人間関係を深め、あわせて母校の発展に寄与することを目的として活動している。引き続き、校友会本部とも連携しながら、活動の幅を広げ、より多くの校友に参加してもらえようという運営に努めていきたいと考えている。

総会の詳細については、本倶楽部のホームページにも情報を掲載する。奈良県在住の校友の皆様、総会への積極的な参加をお待ちしています。

（幹事長 土井敏多）
（奈良県庁監査事務局・石川則子）0742-22-1101

貴船の川床料理味わう 懐石とフリードリンクで

京都支部（牧村史朗支部長）洛北ブロックでは、恒例の懇親会を5月31日に京都でも人気の高い「貴船の川床料理味合う会」を、昨年同様「ひろや」で開催した。

前日まで雨が心配されたが朝は曇り、昼からは日もさしてきて、川床料理を賞味するのに最適な日和となった。日頃の皆様の精進の良さには感謝する次第。

支部長は生憎の所用で欠席されたが、当支部相談役の北嶋弘一校友会副会長はじめ総勢31人で催行。同じく相談役で体育会自動車部OB会長の小笹徳左衛門氏が、同部OB・OG会副会長である宝塚在住の米谷様を同



伴頂いたり、他にも支部未加入の学友達のご同伴者等々も参加頂き、支部強化に多少なりとも貢献できる懇親会となった。

北嶋副会長の関大130周年記念事業の取り組みなどを拝聴し、川床での宴会が始まった。

当日は雨上がりの日差しが頃合い良く、新緑が貴船川に映えて清々しい中での宴会となった。初めての方・久しぶりの方・毎度の方々が集い、懐石料理とフリードリンクで、和気藹々と話に花を咲かせ大いに盛り上がった。初夏の懇親会を満喫し、瞬く間に予定の3時間が過ぎた。

場所がら放歌高吟は他のお客さんやお店にもご迷惑をかけるために、学歌・逍遙歌の斉唱は出来ないのが、近くの貴船神社に集合して記念写真を撮り、次回京都支部総会での再会を約しお開きとした。（武田正彦）

（壽見芳正）0774-24-8008

エレク トーン演奏で開幕 懐かしの曲を皆で大合唱

篠山支部（中瀬和夫支部長）では、6月20日に篠山市ユニートピアささやまフォレストプラザで、校友会田中義昭副会長はじめ、近隣支部からも多数の来賓を迎えて第2回総会を開催した。

堀校友の司会で、来賓11人を

支部の地域連携事業報告

「時の広場」に初の参加 若手校友男女4人加わる

日本標準時子午線の通る街「明石市」では毎年時の記念日6月10日から1週間を「時のウィーク」として様々な行事を行っている。

そのメインイベントともいえる「時のひろば」に、明石関大クラブ（清原博会長）も関大社会連携事業として初めて参加した。

6月14日、心配していた天気も崩れることなく曇りながらも時には陽もさし、前日の様な暑熱もない絶好の行楽日和のなか、紫紺ののぼりを立て校章入りの法被を着た会員たちが関大グッズと清涼飲料水を販売した。

校名の入ったのぼりを見て、多くのOBやその家族の方が立ち寄られ、しばしの思い出話に花が咲き、用意していた校友会誌等も午前中にはなくなった。

また、OBには支部行事の案内や入会を勧めるパンフも配布するなどPRも行った。

今回は初めてでもあり準備体制も十分ではなかったが、この反省をもとに来年はさらに充実した体制で臨むことを



会長以下参加役員で確認した。また、会長以下支部役員に加え男女4人の若手の校友がこの行事に参加したことは、今後の支部活動を展開するうえで大きな意義があったものと考え。（幹事長 池田幸司）

（池田幸司）078-947-8693

芦屋サマーカーニバル 6年ぶりに屋台を出店

7月25日、芦屋サマーカーニバルの市民縁日に、6年ぶりに芦屋支部（直林法廣支部長）として屋台「KAISER ASHITA」を出店した。校友有志が集まり生ビール、冷しスイカ、枝豆等を販売、校友及びその家族にお祭りの場を提供し親交を深める「ことが目的だった。

プロの屋台に取り囲まれつつも「お祭りを楽しむ情熱」を売りに、北陸や大阪、神戸の校友とその家族も参加して、屋台は活況を呈した。

「冷しスイカいかがですか？」との子供の呼び声に人々が段々集まり、好循環の売れ行きに。スイカは農業系大学に学ぶ校友が産地直送で持ちこんだ。

花火の時間が近づく頃には10メートルの長蛇の列！手伝いに来た先輩がファストフード並みにてきぱきとお客をさばき、花火開始30分前にはスタツフもF1レースのピットの如く、お客を待たせないようにと緊張した。サーバーがダウンし残念ながら販売終了。やがて花火が上がり、校友と家族が肩を並べて花火を楽しんだ。





紹介。学歌斉唱に続き、開会挨拶に立った中瀬支部長は、つい先日、第1回日本遺産に選出されたデカンショ節を紹介しながら、今年のデカンショ祭には「校友会篠山支部連」で出場したいとの力強い抱負を述べられた。

議事では、事業報告・決算報告が承認され、今年度事業計画では、校友会事業活動への参加と共に、地元でのデカンショ祭には「校友会篠山支部連」としての参加を提案し、すべての議題が満場一致で承認された。

会場を移しての2部は、大阪出身で縁あって地元篠山で、音楽講師や司会等で活躍する西田夫佐さんのエレクトーン演奏で幕を開け、爽やかでコミカルな語りと大河ドラマテーマ曲や花など6曲の演奏で、会場は盛り上がったコンサートとなった。

懇親会の冒頭、田中副会長が

らは、母校関大の幼稚園から大学院まで3万5230人の学びの状況や、創立130周年記念事業の紹介、1897年からの同窓会活動、43万人校友の活躍ぶり、「関西大学フェスティバルin九州」の紹介と支援要請など、盛り沢山の挨拶をいただいた。

東郷事務局長の地酒による乾杯の発声で開宴。地元料理とアルコールが進むにつれて、会場は大いに盛り上がった。ハーモニカ演奏、詩吟、西田さんのエレクトーン伴奏による「上を向いて歩こう」「青い山脈」など懐かしい曲をみんなで大合唱など、出し物が続くと、全員肩を組んで追っ歌を声高らかに合唱し、前川校友の閉会挨拶・万歳三唱で、デカンショ祭での再開を誓いながらお開きとなった。

（小山英二・41法
松本嘉久男〓079-556-2851）

夏の懇親会で親しく懇談 支部総会は10月3日（土）

西宮支部（中川経夫支部長）は、夏の懇親会を7月12日に阪急西宮北口駅近くの「なでしこホール」で、昭和27年卒から平成21年卒まで37人の支部会員の参加を得て開催した。

以前より、総会では支部会員同士の懇談の時間が少なく、も

各自が心の中で自分の花火を夏の思い出として打ち上げた

つと懇親の時間がほしいとの声が多くあり、一昨年より開催してきた企画だ。

支部長の挨拶、掛田副支部長の乾杯で、おおよそ同年代同士のテーブルにてしばし歓談。美味しいお食事とお酒を味わいつつ、参加者全員による一言テーブルスピーチ。「ある会でたまたま関大卒業とわかり、本日の会に誘われました、「今日は都合でこれなかった友人を総会には必ず連れてきます」など、心強い発言があった。

マイクが全員に行き渡ったところ丁度時間となり、全員輪になって石原副支部長のリードで追っ歌の大合唱。校友会副会長と



最高の一日だった。

（坂本匡弘・60法

としての仕事で札幌に行かれ、帰りの足で駆けつけてくださった三木允子副支部長の閉会のことばのあと、「総会でまたお会いしましょう」を各言葉に散会した。

西宮支部総会は、10月3日（土）の午後6時からノボテル甲子園で行われる。また、今年も10月24日開催予定の「にしのみや市民祭り」において「関大ブリス」を設けますので是非お立ち寄りください。

（広報部長 藤井喜代子・51経
栄興電機工業・小坂圭一〓06-6491-5301）

小西酒造酒蔵で総会開催 来賓に藤原伊丹市長など

7月18日に白雪ブリュワリービレッジ「長寿蔵」で27年度伊丹支部（加藤拓支部長）総会を開催した。校友会副会長、伊丹市長をはじめ16人の来賓の方々に出席いただき、37人の支部会員、3人の現役学生が参加した。

第1部総会は、中尾益彦（53商）、西本憲司（平5工）両校友の司会で、まず物故校友への黙祷を行い、加藤拓支部長（40工）の挨拶の後、議事に入り、上程された5議案について慎重

（依藤健史〓0797-23-7004）

に審議、全て承認された。

第2部の懇親会では、開宴にあたり、第93代小山圭太應援團長指揮による学歌斉唱が行われた。支部長の挨拶の後、来賓の方々が紹介され、田中義昭校友会副会長、そして特別来賓として臨席を頂いた藤原保幸伊丹市長のお二人から、それぞれ丁寧なる祝辞を頂戴した。

最年長の出席者である乾一雄先輩（27文）の発声で、日本酒による乾杯（伊丹市は清酒発祥の地である）を行い、懇親会に入った。出席者全員、白雪長寿蔵地ビールを始め、各種の飲み物で盃やグラスを傾け、ビュッフェスタイルの食事に舌鼓をうち、和気藹々の中、懇親を深め



た。

途中、初参加4人の若い校友の自己紹介があり、来年度は更に若い初参加者が増え、支部活動が活発になるのではと大いに期待できる雰囲気だった。

恒例となった抽選会も盛り上がり、予定時間もあつという間に過ぎ、最後に、小山應援團長の指揮により参加者全員が肩を組み追遙歌を合唱。母校関大、校友会伊丹支部の更なる発展と参加者全員の健勝を祈念した、新原宏（39法）先輩の閉会の挨拶でお開きとなった。

（広報副部長 丸山幸志）
（ヒラク・加藤拓）072-785-5507

淡路の偉人樋口氏を学ぶ 公開講座で縁者の方講演

7月12日に淡路支部（佐藤幸平支部長）総会を、洲本市「タイムアフタタイム」にて開催した。

総会に合わせて11時から社会貢献事業として「公開講座―淡路の偉人を学ぶ―」ということで、南あわじ市出身の「樋口季一郎氏」について縁者の方の講演をいただいた。三市の教育委員会の協賛、神戸新聞の協力により60人の方の出席をいただいた。

総会に引き続き懇親会では、会員による琴演奏、関大ダンディーズ等、あつという間のひと



時だった。

最後になりましたが、本部から渡邊副会長をはじめ、多数の隣接支部のご参加ありがとうございました。（音田誠二）

（音田誠二）0799-62-0055

芦屋の歴史と文化たどる 第1回「芦屋自文会」開催

芦屋の自然と文化を愛する池内副支部長の声掛けで始まった芦屋支部（直林法廣支部長）芦屋自文会。

記念すべき第1回は、7月18日に阪神打出駅から芦屋の歴史をたどる散策をスタートした。まずは打出駅のすぐ北側にある阿保親王廟の道標から。阿保親



王廟から離れたこの地に道標があるのは、ここが西国街道沿いだったからと教えていただき、長年の謎が解けた。

その後も今まで不思議に思っていたながらも通り過ぎていたものや、すぐそばで生活しながら全く気付かずに過ごしてきたものを教えていただいたりと、地元での日々の生活が豊かになるお話をたくさん伺いでき、とてもうれしく思いながら最後は芦屋市立美術博物館へ。

企画展の「モダン芦屋クロニクル」を学芸員さんの案内で見学し、芦屋の歴史を文化の側面からも学んだ。

（浅尾美佳・平10学文）
（依藤健史）0797-23-7004

女子会はますます活性化 先輩など人材に恵まれる

7月4日に本部の全国組織代



表者会議が関西大学100周年記念会館で開催された。「支部活動の活性化」というテーマで宮城、愛知、滋賀、伊丹、和泉の各支部と共に、芦屋支部女子会からは、平成10年卒の浅尾美香さんがパネラーとして登壇した。

芦屋市は10万人足らずの小さな市だが、校友数は1000人少し。今年2月の総会では100人の参加があり、うち女性校友の参加が20人と、他支部からも女性校友の多さを話題にされることもしばしばだ。

今回、女子会の成り立ちや、活動報告、存続の秘訣等を、写真と混じえながら発表させて頂き、芦屋支部女子会を知って頂くよい機会となった。

男子禁制の女子会に、直林支部長を特別ゲストとしてお迎えした写真に、「女子会に呼んでもらえるなんて、支部長になり

たいという方が大勢いらっしやるのでは？」の質問も飛び出した。

せっかく女子会を立ち上げて、もフェードアウトしていく支部が多いと思う中、芦屋支部女子会がますます活性化していくのは、そのライフスタイルを学んでみたいという憧れの先輩である山本淑子副支部長や、女子会をしっかりとバックアップし、こまめにホームページにアップしてくださる依藤健史幹事長の存在も大きい。芦屋支部がこうした人材に恵まれていることも大きな特徴だ。

芦屋にはおいしいお店がたくさんあり、今までは芦屋市内のお店に限定して開催しており、おすすめのお店を紹介しレポートするというグルメ会の側面も持っていたが、今後は市内を離れ、他地域での体験型勉強会も開催したいと思っている。

懇親会では、「是非、うちの支部とも交流会をしてほしい」とか、女性経営者が各地で講演会をしている事をお話すると「今度、講演会をしていただきたい」とのお話も頂戴した。

女子会は、創立3年になるが、一人ひとりが愛とプライドを持って、ますます突き進んで参ります。

（系川寿子・昭62学社）

全国
合格者占有率

No.1

41都道府県(沖縄県を除く)での開講にもかかわらず
全国の合格者の2人に1人以上が
当学院現役受講生!

全国
合格者
占有率

54.8%

全国合格者3,793名中、当学院現役受講生2,077名

関西大学 平成26年度 1級建築士合格者

卒業合格者**42名**中、**26名**が
当学院の講座を利用して合格されました!

当学院受講率 **61.9%**

※卒業学校合格者数は、試験元である(公財)建築技術教育普及センターの発表によるものです。 < 平成26年12月18日現在 >

平成26年度 **2級建築士** 試験

全国ストレート合格者の10人に4人以上は
当学院の現役受講生!!

全国
(平成26年度学科+製図合格)
学科・製図ストレート
合格者 占有率

42.7%

全国ストレート合格者4,052名中、当学院現役受講生1,729名
< 平成26年12月4日現在 >

平成26年度 **宅建** 試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率

8割出席・8割宿題提出・公開統一
模試得点率8割以上現役受講生
134名中、合格者115名

85.8%

< 平成26年12月3日現在 >

平成26年度 **1級建築施工管理技術検定**

[学科試験]

当学院基準達成 現役受講生
合格率

88.1%

8割出席・8割宿題提出 現役受講生286名中、合格者252名
< 平成26年7月25日現在 >

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 無料体験入学実施中! お気軽に下記最寄校まで!

1級 建築士

2級 建築士

構造設計1級建築士

設備設計1級建築士

1級・2級 建築施工管理技士

宅地建物取引士

1級・2級 土木施工管理技士

インテリアコーディネーター

株式会社 総合資格

(一社)日本経済団体連合会会員 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(一社)日本建築学会会員 宅建登録講習機関 登録番号 第009号
(一社)全国産業人能力開発団体連合会会員 宅建登録実務講習実施機関 登録番号 第5号

株式会社 総合資格学院 法定講習センター

国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
一級建築士定期講習 登録番号 第5号 宅建登録講習機関 登録番号 第2号
経済産業大臣指定講習機関 第一種電気工事士定期講習 登録番号 第4号

総合資格学院

梅田校

TEL.06-4709-8111

神戸校

TEL.078-241-1711

新大阪校

TEL.06-6101-1911

姫路校

TEL.079-224-1411

京橋校

TEL.06-6882-8211

京都校

TEL.075-253-0481

なんば校

TEL.06-6648-5511

草津校

TEL.077-566-6911

天王寺校

TEL.06-6771-4311

奈良校

TEL.0742-30-1511

堺校

TEL.072-222-9311

和歌山校

TEL.073-471-2711

今すぐウェブ検索

ケータイサイトも充実

総合資格

検索

http://gakuin.jp/

※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りです。



www.shikaku.co.jp

学院長 **岸 隆司** (法48卒)

私たち総合資格学院はおかげさまで、
創立35周年を迎えました。
これからも有資格者の育成を通じて、
業界の発展に貢献して参ります。



女子会の魅力のアピール アプローチの方法話合い

7月12日、梅雨を忘れるよう
な晴天のもと、芦屋市内の美味
しい三田ポークが頂けるレスト
ラン”ビストロ・ブブ”にて、第
12回芦屋支部女子会を開催し
た。

今回は、パネラーとして登壇
された浅尾さんを含む女子会メ
ンバー3人が出席した。本部の
全国組織代表者会議(7月4
日、100周年記念会館)の話
題から始まり、今後どのような
アプローチで芦屋支部女子会の
魅力アピールしていくことが
できるのかについて、話し合っ
た。

さらに、”私のおすすめ映画
”というテーマで語り合ったト
クコーナーでは、サスペンス・
恋愛・歴史映画など、ジャンル
も年代も異なる幅広い映画が飛



び出し、お気に入り映画からそ
れぞれの新たな一面を垣間見る
ことができたと思う。

参加メンバーは5人と少人数
ではあったが、より深くお互い
の意見を交換し合い、有意義な
時間を過ごすことができた。

(石川彩・平23学社)

「八尾は能楽の街だった 郷土史家の坂上氏が講演

八尾支部(中尾達夫支部長
は6月27日、八尾市文化会館で



27年度総会を開催した。来賓は
本部から植田芳光副会長、近隣
支部の代表、八尾支部が相互交
流を促進している関西学院同窓
会八尾支部長、近畿大学校友
会八尾支部長、八尾市役所関
大会の代表をお迎えし、華やか
な総会となった。

垣内晋祐副支部長の司会で開
催となり、学歌斉唱、物故者へ
の黙祷、中尾支部長挨拶の後、

来賓代表挨拶では、植田副会長
が大学の近況報告と関西大学創
立130周年記念事業「関西
大学フェスティバルin九州」へ
の多数の参加を呼びかけられた。
議事では、長野昌海副支部長が
議長に選任され、巧みな議事進
行で議案の全てが満場一致で採
択された。

講演会では、八尾支部のコン
セプトとして地域密着を旨とし
ており、本年は郷土史家の坂上
弘子氏をお迎えし、「八尾・高
安と能楽」の講演をお願いした。

八尾には古くから能楽を嗜む歴
史があったが、いつの間にか忘
れられてしまった。八尾を題材
とする能楽曲「高安」の複曲に
努めているとお話であった。

懇親会では、東郷洋校友会事
務局長の音頭で乾杯の後、植田
尚志副支部長の司会で、各支部
及び友誼団体の代表者に現状報
告を兼ねて挨拶を頂いた。ユー

モアあふれるスピーチもあって
会場はリラックスした雰囲気
に包まれた。

最後に杉本和義校友のリード
で逍遙歌を合唱し、来年の再会
を約束し、青砥申生前支部長の
万歳三唱でお開きとなった。

(副支部長 南野佳子
(中尾達夫=jn3wdy@kj9.so-
net.ne.jp)

和気藹々の話が弾む 納涼役員懇親会を開催

八尾支部は、8月21日に納涼
役員会並びに懇親会を開催し
た。

6月27日の総会後、支部役員
の地元での活動や支部行事、他
支部関係等で開催が遅くなった
が、納涼会を兼ねての久方ぶり
の役員会であった。

近鉄八尾駅前の「くいもん屋
わん」で、懇親会の前に、お店
のご厚意で役員会を開催した。



友会副会長をはじめ近隣支部や市役所の代表など来賓を含む86人が出席し、盛大に開催された。

今回は、菊池清名誉支部長が、全国高校野球100年目の節目の年に、大阪大会で始球式を務められることを祝し花束贈呈を予定していたが、当日は体調を考慮され欠席された。その後7月11日に京セラドームで無事始球式を務められ、後日花束も届けさせていただいた。

この日は、守口市役所純正会が同じホテルで総会を開いた後、今年採用された3人の新人職員を含む39人で支部総会に合流。

第1部は、学歌を斉唱し、川部支部長が本来なら大正から平成生まれの3世代がそろった予定であったと挨拶され、4月の選挙で10期目の当選をされた校友市議会議員の澤井良一氏が挨拶



をされた。事業及び財務に関する議事案件をいずれも満場一致で承認後、来賓を代表して渡邊副会長から挨拶を頂いた。

第2部は、初参加の久保望（平27法）、藤川真麻（平25法）、山本大輔（平25工）の3人を紹介した後、平井治前支部長の乾杯の音頭で宴の開宴。アトラクションは村橋健校友が所属されている「ニューオリズ4T's」の素敵なジャズの音色を聴きながら、酒宴を満喫した。

最後に皆さんから提供していただいた多数の賞品の抽選会を楽しんだ後、恒例の伊勢重治副支部長のリードで追遠歌を熱唱。母校創立130周年記念事業への協力をお願いして、お開きとなった。

（副支部長 渡辺安彦
（北町収 06-6991-0169）

**病氣予防の食事がテーマ
講師は吉本・和泉修先生**

東大阪支部（松葉健一支部長 27年度総会が、7月11日にホテルアウイーナ大阪で開催された。

本部の渡邊泰之副会長はじめ近隣支部及び東大阪市役所千陵会より来賓を迎え、校友64人が参集した。

総会に先立ち物故校友を偲び、黙祷が行われ、中谷修三副



支部長の開会の挨拶により第1部年次総会が始まり、学歌斉唱、松葉支部長の挨拶と続いた。

来賓を代表して渡邊副会長から母校の近況並びに創立130周年事業等の報告と共に祝辞を賜った。

その後、議事審議が行われ、26年度事業報告、決算報告、監査報告がなされ、了承された。引き続き27年度事業計画案、予算案の承認が行われ、議事が滞りなく終了した。閉会の辞として、阪本達也幹事長が年次総会を締めくくった。

年次総会に続き、和泉修先生（タレント、吉本興業所属）による「病気になるための食事」をテーマに特別講演が行われた。病気が気になる年齢の方が大半のためか、和泉先生の講



窓を考える会社

YKK AP株式会社

大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141

ビル建材第一事業部 大阪支店

www.ykkap.co.jp

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!

関大生割引あり 一度お電話ください。

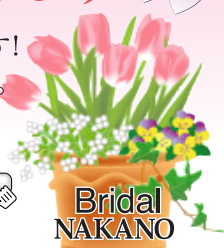
ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624

ホームページでも詳しく紹介しています。

ブライダルナカノ 検索

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

MCSA 経済産業大臣認定個人情報保護団体 結婚相談所サポート協会会員



話に熱心に聴き入る方も多く、これからの食生活に参考となる興味深い内容だった。

特別講演に続き、第3部懇親会が行われた。開宴の辞は岩崎英夫前支部長、乾杯は、吉川壽一大阪狭山支部長の発声で幕を開けた。校友、来賓が楽しく談笑し、和やかな交歓のひと時をすごした。

最後に、来年もまた元気な顔を見せ合うことを約し、逍遙歌を声高らかに吟じ、過ぎし青春の日々に思いを馳せながら散会となった。〔幹事 寺島尚生（ソフトスマイル保険）06-6721-0922〕

古市古墳群を世界遺産へ 記念講演や箏曲演奏聞く

富田林支部（杉本孝支部長）では、7月18日、市民会館で27年度総会を開催した。

本部からは渡邊副会長及び近隣友好支部で計14人の来賓の出席をいただくとともに、会員40人が参加、計54人が集った。参加会員には初めての参加の方も数人おり、平成卒業の会員も4人が参加した。

第1部の総会は、物故者及び東日本大震災の犠牲者への黙祷から始まり、支部長、渡辺副会長及び西野府議会議員（平7商）の挨拶に続き議案の審議が行われた。支部の事業報告、会



計報告、会計監査報告、役員改選・今年度の事業計画が審議され、原案通り満場一致で承認されたものである。

特に筒井副支部長の作成された写真で見える事業報告書は、見やすくよく理解できると好評であった。また、事業報告ではクラブ活動がゴルフ部及び歴史散歩の会が10回を迎えたので、記念事業を行ったことも併せて報告があった。

第2部の記念講演は、羽曳野市歴史文化推進室長（羽曳野支部幹事）吉澤則男氏の「世界文化遺産を目指す古市古墳群」という演題で、取り組みの現況、登録対象古墳は「倭の五王」の活躍した5世紀の大型古墳であること、応神天皇陵をはじめとする古墳の形態の説明、最後に世界遺産条約等の説明があった。近畿で唯一世界遺産のない大阪に、世界遺産をと思う気持ち

ちがあふれた講演であり、聞いているものも何とか支援をという気持ちになったものである。

第3部の懇親会では、最初に近隣支部からの活動状況や課題についての報告があった。次に宮城会桐弦社師範の竹内一氏による箏曲の演奏があり、宮城道雄作曲の「春の海」をはじめとして、演奏方法もジャズバージョン、二人で演奏しているような演奏方法と多彩であり、会場は演奏に聞き入って水を打ったような静けさであった。

抽選会は、校友の山村一彦氏（34法）からは葡萄を、北野登己郎氏（平1社）からは豆菓子、森貞夫氏（平3商）からは和菓子を提供していただいた。

〔幹事長 秦純一（秦純一）0721-9313085〕

定時総会に120人参加 木本茂木市長からも祝辞

茨木支部（別處一支部長）の27年度総会が、8月6日にホテル阪急エキスポパークのオービットホールで、上原洋允法人相談役、寺内俊太郎校友会会長はじめ多くの来賓、現役応援団を迎え、120人を超える校友の参加の下、盛大に開催された。

第1部の総会は、齋藤勝幹副支部長の司会で、応援団第93代



小山圭太団長による学歌斉唱で始まり、相談役はじめ校友会や近隣支部そして関関同立龍の5大学などの来賓紹介の後、別處支部長が挨拶。上原相談役、寺内校友会会長から、そして校友である木本保平茨木市長からも祝辞をいただいた。

その後、田村英明副支部長を議長に議案審議が行われ、事業報告・決算や27年度予算などが承認された。

第2部の懇親会は、東郷洋校友会事務局長の乾杯の発声で開宴。歓談に入り、久しぶりに会う校友と旧交をあたためた。

応援団・チャリダーの演舞に対しては、激励の意味を込め盛大な拍手が会場を包んだ。その後、恒例の福引きとなった。マスクメロンや白桃など豪華賞品を取りそろえ、抽選が始まった。参加者全員が一喜一憂し、当選者の周りで拍手や歓声が起

こり、和やかに終始した。

応援団のリードで逍遙歌を一同肩を組み合唱。福田博行副支部長が支部行事への積極的な参加を、そして更なる発展を祈念し閉会の挨拶を述べ、お開きとなった。〔幹事長 小西盛人（別處一）072-634-6613〕

参加29人中13人が平成卒 新支部長に杉田道雄氏

和泉支部（山本邦夫支部長）総会、いずみ関大の日が6月6日開催された。

本部から渡邊副会長らをお迎えし、参加の29人のうち13人は平成卒で、若い力を感じた。同じ関大出身というだけで年齢に関係なく話の輪が広がり、いい学校だなと感じた。来年も、若い人が参加されたらより楽しい会になると思う。



なお、今総会で山本支部長が
退任され、新支部長に杉田道雄
氏が選任された。

(幹事長 寺村創

(杉田食品) 0725-41-0
434)

連合会6支部から24人 第1回グルメ会に参加

6月28日、泉州連合会(吉田
常佳会長・グルメ幹事長 主催
で、ホテルレイクアルスター
(アルザ泉大津)の美彩美食レ
ストラン「小津」にて、第1回
趣味の会グルメ会が開催され
連合会6支部から24人の校友が
参加した。

もち豚しゃぶしゃぶ鍋を囲み、
酒を酌み交し、自己紹介スピー
チで盛り上がり、和気藹々と親
交を深め、最後に参加者全員で
肩を組み、逍遙歌を歌いお開き
となった。



今後も、年に2、3回開催し
て行きたい。

(事務局長・グルメ世話人

(西出弘秋 archi-kousan.com)

3支部合同総会に約70人 今後の支部間交流活発に

7月11日に都島支部(香西安
勝支部長)・旭支部(秋田好廣
支部長)・鶴見支部(迫匡支部
長)は、天満橋・錦城閣で3支
部合同の総会・懇親会を開催し
た。校友会や近隣支部からも多
くの来賓にご出席いただき、約
70人の集いとなった。

林智彦さん(鶴見支部)のり
いドで学歌を斉唱し、関大文化
会ギタークラブの現役学生によ
る演奏の後、懇親会がスタート。
3支部合同のため、最初は名
刺交換など堅い雰囲気だった
が、お酒が進むにつれ、支部の
垣根を越えた「関大らしい」、賑
やかな懇親会となった。今回の
機会が、今後の支部間交流が活
発になるきっかけとなれば、大
変喜ばしいことだと思ふ。

なお、首藤俊二前旭支部長
が、7月4日に逝去されました
(享年81歳)。母校を愛され、旭
支部・校友会の発展にひとかた
ならぬご尽力を賜りました。ご
功績を偲び、心よりご冥福をお
祈り申し上げます。

(旭支部広報部長 富田忠泰



(都島支部・香西安勝) 06-6
922-4862、旭支部・
秋田好廣) 06-6954-2
433、鶴見支部・みつばさ保
育園・迫匡) 06-6961-
7363)

宮腰支部長19年間活躍

西川忠男新支部長を選出

福島支部(宮腰健次支部長
の総会が、6月20日にJR福島
駅すぐのホテル阪神で開催され
た。本部からは田中義信組織部
長らを来賓としてお迎えし、30
余人が出席した。

西村副支部長の司会・進行で
定刻に開会。初めに宮腰支部長
の挨拶があり、来賓挨拶として
田中氏から祝辞と130周年に
ともなう行事やイベントの説明

があり、とくに募金が予定より
少なく、各支部からのバックア
ップを要請された。

次いで議案の審議に入り、議
長に今井副支部長を選出。1号
議案で門矢副支部長の事業報
告、2号議案で今村会計幹事の
決算報告の後、3号議案で新役
員の選出。19年間活躍された宮
腰支部長の体調がすぐれず、任
期半ばで辞任の意向があり、新
支部長に西川忠男氏が推薦さ
れ、満場一致で承認された。今
後、西川新支部長を中心に、若
返りの新体制が生まれ、活躍が
期待される。

今年の記念講演は、関大ラグ
ビー部コーチのキースデービス
氏をお招きし、「プロスポーツマ
ンとラグビーの人生」と題して
お話を聞く。キースデービス氏
は日本のトップリーグコーチと



して活躍、大学コーチとして古
豪復活に向けて活動されている。
流暢な日本語で、話は文化の違
いで起る日本での生活をコミ
カルな笑い話に筋立て、ラグビ
ーの核心に触れる。「どうしたら
関大ラグビー部は強くなれるか」
という質問には、ずばり「お金
をかけることです」の一言。さ
すが名コーチ。

第2部の懇親会は、谷口幹事
長に司会をバトンタッチ。畑事
務局次長のスピーチと乾杯発声
の音頭で宴は始まった。

羽間平安先輩(元関大理事
長)から法人の状況や、関関戦
の戦績などを聞きながら宴たけ
なわとなる。

レミーマルタンなどの豪華賞
品を織り込んだ抽選会で盛り上
がり、締めは宮腰支部長のリー
ドで逍遙歌を合唱。元氣なりー
ドに「あれ、辞めなくても…」
と声上がる。最後は、少し酔
った全員の記念写真を撮影して
和やかなうちに散会となった。

(副支部長 西村公郎

(谷口晴彦幹事長) 06-645
3-3857)

新支部長に梶本副支部長 62人の参加で盛り上がる

6月19日、北支部(福田平司
支部長)総会がガーデンシテイ
クラブ大阪で、来賓に三木校友
会副会長、近隣支部支部長らを



乾杯となった。関大スポーツ編
2部は近藤副幹事長（アメリカンフットボール部OB）の司会で始まった。ハイモニカ奏者もり・けん様のライブで、懐かしい童謡、唱歌を全員で合唱した後、田中市内支部連合会長の乾杯となった。関大スポーツ編

役員改選では梶本雅憲副支部長が新支部長に選出され、全議案とも満場一致で可決承認された。なお、席上当支部副支部長である馬場靖夫氏が、旭日単光章を受章されたことも報告され、総会は無事終了した。

お迎えし、参加者62人で開催された。市田幹事長の司会で福田支部長の挨拶、物故校友の冥福を祈り黙祷につづき、第1号議案26年度事業報告、会計報告、第2号議案27年度事業計画（案）、予算（案）、第3号議案の役員改選（案）の3つの議案について審議された。

集局の学生諸君による関大スポーツの近況報告、出席女性会員によるスピーチ、KOTOBUKIバンドの方々のジャズ演奏とすすみ、最後は62人全員で肩を組み道遙歌を合唱した。山田副支部長の大坂締めでしめくくり閉会し、参加者全員大いに盛り上がった総会だった。

（宮本明浩）
市田利夫司法書士事務所 06-6375-1336

豊島元一高・一中校長の講演と抽選会で盛り上り

7月12日、東淀川支部（田中正紀支部長 27年度総会及び懇親会が、淀川区のホテルコンソルト新大阪で開催された。

田中康二幹事長の議事進行により総会を滞りなく終えた後、11人の来賓を迎えて第2部講演会へと移った。東淀川支部在籍の豊島光男校友による特別講演では、関大・一高・一中校長在任中の苦労話や生徒の成長への驚き、野球部現役から監督時代での貴重な体験、現在もプロ野球で活躍している久保選手や岩田選手との思い出や交流など、多岐にわたる内容に44人の参加者は興味深く聞き入った。

その後、全員での記念写真撮影、田中支部長の開会挨拶、寺内校友会長に来賓挨拶を頂いた後、田中義信大阪市内支部連



合会長による乾杯発声で、第3部懇親会が開宴。

途中には、恒例となった沢敷西淀川支部長による地元東淀川エリアの歴史・由緒についてのセミナーも開催され、淡路駅周辺の再開発により新しい街作りが進む中、改めて東淀川地区の歴史に感銘を深めた。

その後6人の初参加者の自己紹介の後、参加者が持ち寄った賞品での抽選会で大いに盛り上がり、最後は全員が肩を組み、道遙歌を合唱して閉宴となった。（幹事 門脇廣幸・54経（田中正紀）06-6328-4162）

マジックや落語・福引もコース料理楽しみながら

6月27日にシティプラザ大阪で、大阪中央支部（北野克己支部長）27年度の総会・懇親会を開催した。例年10月の開催だ

ご良縁 成婚率の高さが決め手

100%手づくりのお世話®

コンピューターを一切使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。ご成婚重視のため、他社との連携は一切いたしておりません。国公立大学・有名私立大学ご出身のご成婚者が大勢いらっしゃいます。

エムロードはここが違います

- | | | |
|--|--|---|
| 1 成婚率の高さ
無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり100%の行き届いたシステム。 | 2 質の高い会員層
国公立・有名私立大学が中心。 | 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
ご入会からご成婚まで、同一のアドバイザーが担当。 |
| 4 自社会員のための構成
成婚率の高さの維持とプライバシーの保護のために他社との提携は一切なし。 | 5 格式あるお見合いパーティー
帝国ホテル・リッツカールトン等、一流ホテルでの会員様だけの集い。 | 6 安心の均一料金システム
どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視の安心料金システム。 |

お問い合わせセンター
営業時間 / 10:00～18:30
定休日 / 水曜日

よい ふうふ よろしく
0120-4122-46

大阪 NU茶屋町プラス最上階(3101) 神戸 神戸国際会館19F 京都 オフィス・ワン四条烏丸6F

資料請求 無料

- ドクターズコース
- スタンダードコース
- シニアコース 有

株式会社 **エムロード** Marriage Road

携帯・WEBからも エムロード 結婚



が、決算時期（3月）から総会までの期間が長いことから、今年から6月開催に変更。

総会は、石川雅一幹事長の司会の下、岡田由美幹事のピアノ演奏による学歌斉唱の後、北野支部長挨拶、来賓紹介と続き、田中義昭校友会副会長から祝辞を頂戴した。その後会計報告・支部の活動報告・支部役員の変更などのすべての議事が承認され、閉会した。

懇親会は、司会者を前田典亮事業部長にバトンタッチし、上原洋允関西大学相談役の乾杯の音頭でスタートした。おいしいコース料理を楽しみながら、大阪中央支部では恒例になった斉城正之顧問のマジックショー、林家染太氏の落語、福引大会と大いに盛り上がり、最後は全員で肩を組んでの道遙歌の合唱。藪内正明参与の閉会の辞・大阪締めでお開きとなった。

（広報部長 光成和晃）
（北野商店）06-6253-0861

新役員で後藤支部長統投 支部の活性化で一致団結

6月20日、大阪天満橋・錦城閣で50人の参加を得て賑やかに城東支部（後藤憲之支部長）総会を開催した。総会では役員改選が行われ後藤支部長の統投が全会一致で承認され、出席者一同城東支部の更なる活性化に向けて一致団結を確認した。

総会に引き続き開催した懇親会は、応援団OB長柄会川口校友の指揮で学歌を斉唱したあと、後藤支部長のいつものがらのユーモアたっぷりの挨拶でスター



トし、来賓を代表して渡辺泰之校友会副会長、奥野隆司大阪市中心区長からご挨拶をいただいた。そのあと、中村修校友会事務局次長に乾杯の発声をいただき、支部恒例の大宴会がスタートした。

和気あいあいの懇談が進む中、関大ギター部OBの若手ギタリスト北山直樹さんの素晴らしい演奏、そして昨年に引き続きチアリーダー「クレアーズ」の若さいっぱいのパフォーマンスで校友一同、若返り元気をいただいた。

そのあと豪華景品の当たるビンゴゲームで会場は大いに盛り上がり、最高潮を迎えた。まだまだ宴会が続けたかったが終宴の時間が近づき、最後に、応援団OB長柄会浜田校友の指揮で道遙歌を参加者全員が肩を組み声高らかに歌い、城東支部の一層の団結と母校130周年事業への参画と成功を期して閉宴した。

（近藤正昭）
（近藤正昭）06-6935-5454

年代を超え楽しい総会 新支部長に三科仁孝氏

6月21日に道頓堀ホテルで、来賓を含め29人が出席して住之江支部（籠池泰典支部長 第7回定時総会を開催した。

総会議事では、籠池支部長が



都合により辞任されたので、三科仁孝氏を新支部長に、また新たに青年部を結成することを承認した。

ハイキング同好会とグルメ同好会の活動報告があり、新規事業計画として来年の住之江区民祭への参加を検討することになった。

親睦と校友会活動の広報を積極的に進め、多くの会員に参加してもらえ支部運営について、来賓の方から貴重な助言をいただいた。

卒年を超えて、楽しく語らう和気満々の楽しい総会だった。

（幹事長 塩田憲治）
（塩田司法書士事務所内）shio-taken@u1.gateol.com

初の青年部懇親会に9人 毎月1回校友の店で開催

住之江支部（三科仁孝支部長）の青年部は、総会などの支



部活動に未参加の、比較的若い世代の校友さんとの繋がりを深め、信頼関係を得た上で、将来的に支部活動にもご参加いただけるようにという考えから、今年6月の支部総会で設置された。

8月11日、第1回青年部懇親会を開催、合計9人の参加があった。

今後毎月1回、第1火曜日の午後7時半から中垣智行校友経営の「喫茶館プロコップ」（住之江区粉浜西1-4-3 電話06-6673-5587）で同懇親会を開催しますので、是非ご参加下さい。住之江支部だけでなく、他支部の方の参加も大歓迎。

校友同士の情報交換、異業種交流の場にして行きたいと考えていますので、宜しく願います。

（青年部長 森岡健）
（塩田司法書士事務所）06-943-7267

飲み放題で納涼役員会 暑さ吹き飛ばし歓談

西成支部（吉村健治支部長）では、8月4日に難波の道頓堀ホテルで納涼役員会を開催した。吉村支部長以下10人が集まった。

夏の暑い時期で飲み放題でしたので皆さんしっかり飲んで、暑さも吹き飛ばして和やかに歓談した。

平成16年卒の尾寄氏が、総会に引き続き参加してくれたので心強い限りです。

節目の第50回定時総会に68人集う 今後も交通災害遺児支援の継続を!!

在阪の自動車業界に従事する校友で組織している自動車関大会（瀧川晃会長）の第50回定時総会が、7月15日に大阪市港区のホテル大阪ベイタワーで68人が出席し、来賓として北嶋弘一校友会副会長らを迎えて開催された。

第1部は、学歌斉唱、会長挨拶のあと議事が進められ、26年度の事業報告、会計報告が満場一致で承認された。瀧川会長は、「この会は、日ごろはライバル関係にある皆さんが集まり、情報交換をする珍しい会で、歴史も長く今年節目の50年を迎えた。名神高速道路が全線開通し



（幹事長 花岡宏）
（吉村健治）06—6661—5325



た時代に発足し、先輩たちから受け継いで今日を迎えることができた。今後とも自動車業界発

展と母校の隆盛に尽くすという発足時に制定した会の目的を改めて認識し、それに向かいたい」と挨拶し、50年目の節目を振り返った。

また、50年を記念し同会発足に尽力した特別会員の藤井康男氏（昭27経）に感謝状を贈呈した。同氏は、「販売会社やメーカーなどを問わない幅広い自動車業界の関大マンによる会合を今後も続けてほしい。とくに交通災害遺児を支援する取り組みは交通事故をなくしたいという自動車業界人の思いであり、今後も続けてほしい」と後輩たちと呼びかけた。

第2部は乾杯の後、懇親会に移り、今年入った新卒会員を紹介し記念品を贈呈。また、恒例のチャリティバザーも開催。出席者からさまざまな出品があり、売り手と買い手の競り合う声飛び交う中、日頃は仕事上ライバルである会員同士が、この時ばかりは楽しく和やかなひとときを過ごした。売上金の一部は、（公財）大阪交通災害遺族会への寄付に充てられる。最後に出席者全員で大きな輪になって肩を組み追遠歌を合唱し、万歳三唱して閉会した。

（事務局長 宇山幸生）
（大阪トヨペット経理部内・宇山幸生）06—6543—5215

副幹事長・幹事に若手選任 10月14日に合格者祝賀会

校友法曹（弁護士、検察官、裁判官等）の職域会である関大法曹会（山田庸男幹事長）は、5月18日に大阪弁護士会館の地下1階レストランで春季総会を開催した。

総会では、法科大学院を修了した会員が増加してきたことから、新たに本学法科大学院修了の弁護士である吉村卓輝（平19専法科）と大住洋（平21専法科）の両会員を副幹事長に、昨年末に弁護士登録をしたばかりの若手3人を幹事に、それぞれ追加選任し、併せて吉村新副幹事長への会計担当副幹事交代も決議された。

引き続き懇親の部に移って、3人の子を持つ母親である中井洋恵会員（昭61M法）が、本年4月から大阪弁護士会の副会長に就任されたことの祝賀と激励があった。答礼に立った中井会員は「関大法曹会は親戚のおじちゃんおばちゃんや甥姪が寄り集まる法事だ」との、激務の疲れを感じさせないユーモアあふれる挨拶をされた。

児玉憲夫元幹事長の乾杯の発声で会食懇談が始まり、昨年11月に大学の支援の下に開設された弁護士法人あしのは法律事務所の前代表である大仲士和法科大

学院教授や栗原宏武法人評議員会議長の両会員から、法科大学院再生に向けての取り組みの状況が報告された。

これを受けて、出席の若手会員や司法修習生からも活発な意見が出されるなど、「法科の関大」復活に向けて大いに議論が盛り上がり、盛会裏に散会した。

なお、9月8日の司法試験合格発表を受けて、今年も関大法曹会は校友合格者を対象にOB弁護士会の法律事務所での事前研修を実施し、10月14日午後6時から大阪新阪急ホテルにおいて秋季総会を兼ねて大学と共催で司法試験合格者祝賀会を開催する。

（副幹事長 吉村卓輝）
（関西法律事務所・吉村卓輝）06—6362—1237

テーマは「検察と捜査」 大仲士和教授が講演

公認会計士関大会（酒井清会長）は、7月18日に関西大学校友・父母会館でCPE夏季研修会を開催した。今回は、大学院法務研究科・大仲士和教授（昭48学法）を講師に迎え、「検察と捜査」というテーマで講演いただいた。

大仲先生は、昭和57年4月に大阪地方検察庁検事任官後、大阪地方検察庁特捜部部長、最高検察庁総務部長、さいたま

地方検察庁検事正などの要職を歴任され、平成25年3月に退官された後、同年4月から関西大学法科大学院教授、平成26年10月から弁護士法人あしのは法律事務所代表社員弁護士として活躍されている。

講演の内容は、先生が弁護士ではなく検事を選択されたきっかけとなった事件の解説に始まり、検察組織や検察と事件のかかわり方、先生が実際に関わられた事件と捜査に当たっての心構え、後進の育成等多岐にわたるお話をいただいた。質疑応答もあり、予定時間の2時間を超えて非常に内容の濃い充実した研修となった。

講演後は、レストラン紫紺に場所を変え、畑下顧問の元氣な乾杯の発声で懇親会を開始し、楽しいひと時を過ごした後、酒井会長の一本締めでお開きとなった。

次回は、11月ころを目途に、林研修担当副会長が興味深い内



容の研修会の企画をしている。多数の会員に参加いただけることを楽しみにしています。

(副会長 玉置栄二)
(アクア・アンド・カンパニー・中丁卓也) 06-4708-5200

相続税・贈与税で研修会 講師は税理士の初谷氏

関西大学会計人会（燈田進会長）は、近畿税理士会の認定研修団体として年2回の認定研修を行っている。本年も上半期の認定研修（第21回）を6月15日に大阪キャッスルホテルで開催した。

今回の講師は、税理士の初谷茂二先生（昭47法）で、「相続税の誤りやすい事例」というテーマで講演いただいた。

初谷先生は、昭和47年に国税専門官第2期生として大阪国税局に採用され、大阪国税局資産税課課長補佐、粉河税務署長、大阪国税不服審判所第1部部长審判官などを経られ、平成21年南税務署長を最後に退官、税理士登録、現在は大阪市中央区で税理士事務所を開業されている。

講演の内容は、税務職員及び税理士としての豊富な経験に裏付けられた事例を中心に判例紹介なども交え、解説していただいた。相続案件は、税負担が重



いこともあり、解釈ミスによっては税理士としての専門家責任が問われることが想定される。また、相続人間での争いが発生することもあり、非常に対応が難しい事案が多いので、本当に有意義な研修会であった。

講演後も、先生に質問者が列をなし、非常の内容の濃い研修会であったことが裏付けられた。

次回は、11月9日（月）開催予定の関大会計人会の総会当日に、税理士の前義信先生をお招きし、マイナンバー制度について早急に対応すべき実践的なお話をさせていただく予定である。

(研修担当副会長 玉置栄二)
(燈田進税理士事務所) 06-766-1255

近畿圏の18人中14人参加 大学と共催で合格祝賀会

祝賀会兼新入会員歓迎会が、大阪キャッスルホテルで、大学から吉田栄司副学長、五藤勝三常任理事・法人本部長、葛原力三法学部長が出席、校友会から北嶋弘一副会長らを来賓に迎えるとともに、平成26年度合格者14人と司法書士関大会（中村博会長）会員を合わせ総勢54人の参加を得て開催された。

冒頭の中村会長の挨拶で、この合格祝賀会の開催趣旨は、新入会員の獲得と司法書士の知名度を上げるために、平成17年から始めて今年で11回目になり、第4回目の平成20年からは大学との共催となったことを述べた。

また、今回、26年度司法書士試験合格者は近畿圏の中で18人が判明し、本日14人が参加していること、合格者の学部別内訳は法学部13人、経済学部2人、商学部2人、工学部1人となっており、今回は女性の合格者が1人も判明していないことを報告した。

引き続き、学歌を斉唱し、学校関係者及び来賓の紹介の後、吉田副学長が合格者を祝福、大学と司法書士関大会が連携を結びながら協力していきたい旨を述べられた。続いて、五藤常任理事は、お祝いの言葉とともに、登記のみでなく、裁判・後見手続き等広範囲な業務を行っていることへの頼もしさを述べられた。

最後に北嶋校友会副会長から、校友会の現状報告と来年に控えている関西大学130周年記念事業への協力お願いの挨拶があり、合格者全員に記念品の贈呈が行われた。

続いて、当会の佐竹正康副会長の発声で乾杯し、歓談に入った。葛原法学部長の祝辞に続き、本日の主役である合格者が壇上にあがり、川上敦史幹事の司会のもと自己紹介並びに今後の抱負等を大いに述べてもらった。そして、合格者・学校関係者及び来賓を交えての恒例の記念写真の撮影を行った。

ついで、会員を代表して大阪司法書士会会長の中谷豊重参与、大藪正幸幹事、大阪司法書士会東支部長塩田貴美代相談役、南支部長の波多野省吾会員、阪南支部長の奥和久会員、最後に企業法務研究会の世話役





「厳しい状況乗り越える」
福田会長が第5回総会で
 物流関連の仕事に携わるOB
 で組織されている物流関連大会
 (会長・福田泰久・センコー社長、
 会員数123人)の第5回総会
 が7月25日、大阪市北区の大阪
 第一ホテルで開かれ、26年度事
 業報告と収支決算ならびに27年
 度事業計画などが承認された。
 同会では26年度事業として、

を務めている柴富公行副幹事長
 から、合格者へお祝いの言葉を
 述べた。
 遣還歌を全員で合唱し、北田
 五十一副会長の閉会の辞でお開
 きとなった。
 なお、第55回定時総会は、11
 月7日(土)午後6時から大阪
 キャッスルホテルで開催する。
 (幹事 山下誠二
 (中村博司法律事務所) 06-
 6705-5678)

いすゞ・藤沢工場視察研修などを
 行ったが、27年度は11月にベト
 ナム視察研修を予定している。
 総会では、栗尾尚孝幹事長
 (大和運送)が司会を担当する
 とともに、議案内容の朗読、説
 明も行った。
 冒頭、挨拶に立った福田会長
 は、まず「今、ベトナムには日
 本のメーカーがものすごく進出
 しており、その関係で我々物流
 の仕事の引き合いが非常に多
 い。ベトナム、カンボジア、ミ
 ヤンマーでの引き合いが多く、
 それだけ日本の企業が今後出て
 いくということだろう」などと
 今年度の視察先であるベトナム
 の現況に触れた。
 その上で、「我々トラック業界
 に入ってくる若い人、特にドラ
 イバーが非常に少なくなってい
 る。我々の仕事は長時間労働な
 ので、それが若い人が入ってく
 る時の大きな障害になっている。
 そこで、長時間労働の抑制を
 目的に『トラック輸送における
 取引環境・労働時間改善協議
 会』が中央と地方で立ち上がり、
 協議が始まっている。いっ
 ぺんには解決しないだろうが、
 改善していかなければならない
 問題だ」などと、トラック運送
 業界の労働力不足問題に言及。
 「私としては、国交省などに
 外国人ドライバーを雇用できる
 ように働きかけている。そうし

ないと今後、我々はやっていけ
 なくなる。今は女性ドライバー
 をもつと増やすとか、高齢者の
 雇用を延ばすとか言っているが、
 こんなことで間に合うのも、お
 そらくこの10年くらいだと思う。
 そこから先は本当に大変なこと
 になる」と警鐘を鳴らし、「物流
 関連大会としては、いろいろ情報
 交換しながら、この厳しい状況
 を乗り切っていく」と呼びか
 けて、挨拶を締めくくった。

総会には、来賓として名誉教
 授の北嶋弘一校友会副会長が出
 席し、関西大学が来年創立13
 0周年を迎えることなど、母校
 の近況を報告。特に130周年
 記念募金活動への協力を呼びか
 けた。

総会終了後は、高野武文副会
 長(陽光)の乾杯の発声で懇親
 会に移行。谷康司副会長(日隆
 産業)の三本締めで散会するま
 で和やかに懇談し、親睦を深め
 た。(阪本

(大和運送・栗尾尚孝) 072
 -626-7235)

河原秀久教授が学術講演 4月に文科大臣表彰受賞

27年度の博修士会(北嶋弘一
 会長)総会は、関西大学校友・
 父母会館で、前田裕副学長、植
 田芳光校友会副会長、仁井ひろ
 み女子秀麗会会長らを来賓に迎
 えて、8月1日に開催された。



総会では、黙祷と学歌斉唱を行
 った後、北嶋会長、前田副学長
 と植田校友会副会長の挨拶を頂
 いて始まった。総会では、26年
 度の事業報告と収支決算報告、
 そして27年度予算(案)を全員
 一致で承認した。

続く学術講演会では、今年4
 月に文部科学大臣表彰科学技術
 賞(開発部門)を受賞された化
 学生命工学部の河原秀久教授か
 ら「生物由来不凍タンパク質の
 機能と冷凍食品への応用」と題
 して講演を頂いた。

講演では、私達の生活の必需
 品となっている冷凍食品のメリ
 ットと冷凍・解凍における氷結
 晶の問題点をとりあげ、不凍タ
 ンパク質利用の安全性と有用性
 について分かり易く説明して頂
 いた。この研究がすでに50品目
 以上の食品に応用されている事
 に一同驚いた。今後の展望とし
 て、冷凍食品だけでなく、飛行

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信 義

本社 〒660-0815
 尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
 電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
 〒177-0033
 東京営業所
 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
 電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
 ホームページ <http://www.kyoei-d.co.jp>

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園
 北陽高・北陽中・関大高等部・関大中等部ご下命店
 学・校章型著(上)用謹製

厚生大臣賞
 日本食品衛生協会賞



和 洋 御 菓 子 司

株式会社 **昌月堂**

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
 電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
 FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

機の凍結防止も研究している事が披露された。

講演後、レストラン「紫紺」に場所を移した懇親会では、終始和やかな宴を過ごすことができた。

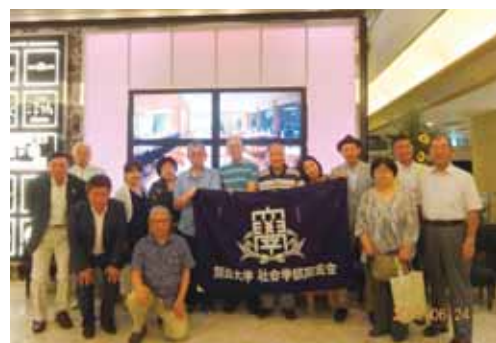
(篠塚義弘・平20会計
(システム理工学部講師控室
付、機械工学科・中原住雄
06-6368-1121)

総会で学部の近況聞く 新事業「音楽の夜」も

社会学部同窓会(横山豊会長)は、4月5日に第9回総会及び社会学「よつといデー」を開催した。

当日は、同窓生16人が参加し、第1部として総会を開催。事業報告、決算報告、役員改選、事業計画、予算について審議し、原案どおり承認された。

第2部では、顧問の東村社会学部教授から「社会学部の近況について」の講演があり、社会学部を取り巻く環境が今年より激変し、立命館大学が茨木市に進出してきたことなど、この一、二年は近畿の大学、我々関西大学、その中でも社会学部もいろいろと変化して行かねばならない時代になっているとの講話があった。社会学部も2017年には学部創設50周年を迎える。私どももこれに向かって歩んでゆかねばならないことをひしひしと感じた。



第3部の懇親会では、和気藹々な食事をとり各人が親交を深めた。その後、スプリングフェスティバルの歓迎セレモニーに参加し、応援団の演舞、演奏を楽しみ散会した。

また、6月24日には「アブのミュージックナイト」と題し、親睦・研修事業を実施した。当日は14人が参加し、吉田昌代さんのスタンダードポップスからジャズ、ボサノバ、フォークソングなど幅広いジャンルの音楽を生演奏で楽しみながら、和気藹々な懇談し親睦を深めた。

今回のようなイベントは初めての試みだったが、参加した同窓生の評判も良好なこともあり、今後も実施を検討して行きたいと考えている。

(横山豊
(横山豊 075-961-104)

七夕で 逢って 笑って 元気満天!

第50回総会で先輩に感謝の意を表す

スポーツマンクラブ(2部体育OB会・中井邦夫会長) 第50回七夕総会を、7月7日にホテル阪神で約150人の来賓・会員の出席で開催した。年に一度、何があっても「七夕」に開催し親交を深める場だ。今回は50回目の記念総会で特に気合を入れ、かつ笹の葉や笑い竹を飾り、爽やかな雰囲気作りをした。

まず、1部総会では、活動報告・会計報告・監査報告・活動計画・予算案、そして若返りを図った役員改選について、賛成多数で承認。

2部懇親会は、七夕で逢って 笑って 元気満天!のキャッチフレーズのもと、まず中井会長の挨拶では、当会の歴



史の紹介。そして来賓紹介の後、上原洋允法人相談役と寺内俊太郎校友会会長から熱い挨拶をいただいた。続いて、小坂道一法人顧問(当会最高顧問)の乾杯で宴が始まった。

今回は、企画満載となった。

まず当会のこれまでの運営に多大なる尽力をいただいた小坂最高顧問をはじめ15人の先輩方に感謝の意を表した。また、天六II部の流れを汲む剣道クラブ有鄰会(サークル)を激励。そして、応援団による演舞、七夕ツリー企画、沖縄島唄などで盛り上がった。なお、130周年募金活動も行った。司会の私もこれほど時間に追われ、逆に懇親をできなかった総会は初めてだ

った。

昨年、残念ながら天六学舎が無くなったが、全てに懸命に取り組むII部魂は不滅。それぞれの社会でそれを発揮することを改めて誓った。

来年も7月7日(木)に開催する。みなさまでどうぞよろしくお申し込みをお願いします。

(事務局長 小早川勝己
(小早川勝己 090-3169-8852)

公証人や成年後見制度 普段聞けない話を聞く

第42回天六同友会(水上義博会長)の総会は、6月20日にシテイプラザ大阪で開催された。来賓には、本部から三木允子副会長、盟友団体であるスポーツマンクラブ並びに応援団OB長柄会代表らを迎え、会員27人が出席した。

総会は、3部構成で進められ、第1部では26年度の事業報告・会計報告の承認の後、27年度の事業計画が承認された。

第2部の記念講演は、渡邊玉五知会員が「公証人の役割と成年後見人制度について」と題し、法務省事務官、大阪法務局総務部長、近畿公証情報センター理事長等の職歴から、法務局業務や公証人の業務、成年後見人の役割など普段聞かれない話をされた。

知られざる関大史聞く
復活後第2回総会で

6月23日、清交社関大会（加藤拓会長）復活後第2回総会がANAクラウンプラザホテル大阪・高砂の間で行われ、15人が参加した。寺内俊太郎校友会長も駆けつけていただき、なかなか雰囲気の中での開催となった。



第3部の懇親会は、来賓を代表して三木校友会副会長の挨拶の後、畑下辰典氏の発声による乾杯でスタートした。適度に酔いがまわってくると、毎年恒例のリレー形式の会員のスピーチや各テーブルでの話も盛り上がった。

天六学舎跡地の一画（約3坪）に天六学舎跡のモニメントが造られる予定であること、代替地となる北区鶴野町の新学舎が2年後の完成とあるが、ここに社会人学習のための講座も設置されること等で、将来への希望を語る場ともなった。最後は、来賓の応援団OB長柄会、石原副会長の指揮で逍遙歌を全員で熱唱して幕を閉じた。

（幹事長 松永明
（水上義博 072-635-2147）

加藤会長の冒頭の挨拶の後、寺内会長からも来年の関大創立130周年に向けての校友会の取り組みについてお話しされた。加藤会長の議長指名により、26年度事業報告・収支報告及び27年度事業計画案・収支予算案が提案された。さらに加藤会長から「幸いにして、かつて当会の諸先輩が残していた繰越会費があるところから、その一部を関大130周年に向けて当会からも寄付をしてはどうか」という緊急提案があり、出席者の満場一致で承認された。

続いて、『知られざる関大史』と題して、校友会顧問畑下辰典会員の卓話が行われた。「ポール・クロデルと関大ゆかりの人々」（浜本隆志文学部元教授の論文）を紹介され、いかにして今日の関西大学が創られてきたかを歴史年表等をもとに貴重なお話を聞かせていただいた。

その後、橋本守之会員の乾杯



の音頭で、フランス料理コースに舌鼓。アルコールが入りだすと話が太いに盛り上がりつつあった。どうしても昨今の関大の動向が話題となるが、近大の養殖マ

グロ店の成功を始め、外部への発信力などと比較し、わが母校は、司法試験合格者の低迷もあって大学のガバナンスに対する期待感から、小寺一矢会員が熱く語られた。

現在、当会の登録会員数51人であるが、各方面に呼びかけてより多くの人に参加してもらうために知恵を出すとともに、定期的に例会等を催して現会員同士の親睦を深めていくことで意見が一致した。

最後に次回9月頃予定の定例会での再会を約して閉幕となった。

（幹事 松永明
（社団法人清交社 06-6341-8001）

「災害とその備え」で講演
千里山法律学会に支援金
総会を開催した。

6月20日、ヴィアール大阪で27年度睦法会（赤松建美会長）総会を開催した。

本年4月25日亡くなられた赤松会長をはじめ、昨年度に亡くなられた会員諸氏に黙祷を捧げ、睦法会千原副会長・葛原千里山法律学会会長から挨拶があった。

田中幹事長が議長となって、主原副幹事長から26年度事業報告、池田会計幹事から同決算報告、平山監事から監査報告があり、報告案件はいずれも可決承認された。続いて27年度の事業計画案、予算案についても提案があり、承認された。

議事の終了後、千里山法律学会第82代榎本幹事長に今年度の活動支援金を贈呈した。第2部の講演は、昭和60年卒の尾川文



彦氏に「災害とその備え」最近の予測を読み解く」とのテーマで講演していただいた。

その後、別室で懇親会を開催。千里山法律学会会員の協力でビンゴを楽しみ、最後は葛原先生の口上で逍遙歌を力強く大合唱、来年度の再会を約して解散となった。

（主原信宏

昭和46年〜平成14年卒まで
先生や同期と旧交温める

社会学部石川啓ゼミのOB・OG会が、7月4日に母校の新関大会館内のレストラン「チルコロ」で開催された。

石川先生も大変お元気で、昭和46年卒から平成14年卒まで、遠くは熊本、広島、東京から総勢18人が出席し、先生や同期生と旧交を温めた。

石川先生は81歳となられたが、大変お元気でまだまだ現役として活躍されるそうだった。



今回のOB・OG会については時期が来ましたら、校友会紙にてご案内いたします。

(桐山裕二)

激動時代の貴重な体験談 西岡山会長の話に共感

8月8日に大阪ナンバ法善寺のフェローズで紫紺四五会(西岡山清一郎会長)が開催された。

この会は、昭和45年卒の体育会、応援団の同級生たちの集いで、元応援団長の土道君指揮の学歌に始まり、1年間の物故者に黙祷を捧げた。

暑く忙しい中35人が出席、香川県や名古屋、四日市市の遠方からの出席者も迎えることができた。会長で元体育会本部長の西岡山君から、関大史上初めて遭遇した関大会館封鎖、過激派学生の壮絶なゲバ死の学園紛争、体育会・応援団など約70



0人の有志による3日間の体育館でのバレーボール大会、大学の逆封鎖や試験なしのレポート卒業などが語られた。激動、思い出の学生時代に戻り貴重な体験に共感した。

そして古希目前の参加者のスピーチにも大いに花が咲き、「笑いと驚き」と学生時代にタイムスリップした短かすぎる楽しい3時間であった。元応援団吹奏楽部藤井君のリードで追遙歌を熱唱し、名残り惜しかったが元体育会副本部長の天野君の「来年も元気で会いましょう」との約束で閉会した。

(元関大スポーツ編集局 小池克実)

昼はトンボ玉作りに挑戦 梅田の懇親会に初参加者

応援団および体育会各部の昭和61年卒業生で設立した関西大学六一会(今泉昭彦会長・体育会本部長)は、6月6日に「トンボ玉作りの昼とスペインナイト」をテーマに卒業29周年懇親会を開催した。

昼のトンボ玉作りは、和泉市にある山野ビードロ工房でトンボ玉作りに挑戦した。このトンボ玉(硝子細工)は和泉市の地場産業で、明治中期から続いている伝統産業。色のついたガラス棒をバーナーで溶かしてトンボ玉を作る。

挑戦したのは人江吉弘(バス



ケット)、岡本吉生(漕艇)、鳥取県から駆けつけた木下功(テニス)、下條芳浩(野球)、谷口欣久(柔道)、葉上正樹(漕艇、東島憲之(柔道)、前田真理子(馬術)、井阪浩明(器械体操)の9人。山野先生の指導のもと1時間あまりで7個から10個のトンボ玉を作った。

アシスタントに入った井阪浩明(器械体操)は「トンボ玉を製作中、試合に臨むような真剣な表情は久しぶりに見た」と思った。成果はいろいろな形のトンボ玉?が出来上がった。そしてこのトンボ玉をプレスレットやネットレスに加工し、それぞれ身に付けて懇親会へ。

スペインナイトの部は、大阪マルビルのマルデボッカ(スペイン料理)に場所をかねて行った。世話人の葉上正樹(漕艇)の司会、事務局長の谷口欣久(柔道)の挨拶、初参加の石川

基之(野球部主将)の乾杯で宴が始まり、18人が学生時代や現在の近況を語り合い親交を深めた。

今年はいくつかのことに初参加者がいたこと、もう一人は今年参加できなかったが、来年には初参加するという約束も取れたこと。

昨年より当番制の世話人を今年は井阪浩明(器械体操)、下條芳浩(野球)、葉上正樹(漕艇)が担当となり、数か月前から準備をし、当日を迎えた。次回は卒業30周年記念の会で、世話人代表を山本一秀幹事長(拳法)に託した。

「今日参加のものは必ず2人つれてくること」を約束に閉会し、大阪マルビル前で声高らかに追遙歌を合唱し解散した。

(世話人代表 井阪浩明
(連絡先=k161kai@gmail.com)

現役とベア組みゲーム 総会・懇親会は梅田で

イエローサブマリンテニスクラブOB会総会が6月7日に開催された。

1部のテニスは、梅雨にもかかわらず前日までの雨もやみOB7人・現役3回生13人の20人が集まり相川テニスプラザでテニスを楽しんだ。

普段から運動不足の方、現役時代よりテニスが上手くなって



いる方、それぞれのペースでテニスができるよう、ストロークボレー、サーブ、フリー練習を行い、現役とベアを組みダブルスのゲームを行った。

OBは2期から38期までの幅広い年代の参加者で、「しんど

男女「結婚」の橋渡し

申込金 12,000円 月会費不要

- ☆申込資格 本校校友およびその子弟、本校校友の責任ある紹介を受けた人
- ☆相談日と相談時間 毎月第1・第3土曜日 午後1時~4時(祝日を除く)
(但し受付は3時30分まで。1月第1、8月・9月第1・第3土曜日はお休み)
- ☆場所 千里山キャンパス 〔阪急電車「関大前」駅南出口(梅田方面)出て、
校友・父母会館2階 大学南門よりエスカレーターを上がって正面の建物〕

関西大学女子秀麗会
結婚相談所

URARA

■お問い合わせ
仁井ひろみ方 TEL (06) 6925-1821
FAX (06) 6925-1823



**初のパークゴルフコンペ
女性陣の応援で盛り上げる**
北海道支部（松本陽一支部長）には、ゴルフ部会とパーク



「いな」と言いつつ、休憩も少なく元氣いっぱいプレーで、現役もびっくりのようだった。
2時から5時までの2面のコート予約だったが、気が付くと5時となりテニスを切りあげ、お待ちかねの宴会場へ移動。6時半より梅田百番で2部の総会・懇親会を開催した。
物故者への黙祷の後、潤井さんより、活動報告・会計報告、活動予定・予算案の説明があり、満場一致で承認。さっそく懇親会を開会し、テニスの後ということもあり、すぐさま盛り

り上がりとなった。

毎回顔を合わすOB同士は、早々にエンジン全開。また現役3回生の部長やスタッフとも楽しく話をし、現役の活動の様子を聞いて心配しつつ、お説教なしの楽しく和やかな雰囲気での宴会だ。

「ラストオーダーです」の声で、もうこんな時間かと気づき、最後はもちろん応援歌。22期松本さんのリードで大合唱し、エールを行い、10月のOB会での再会を誓い散会となった。

（世話役 潤井寛）

ゴルフ部会がある。全国にある支部でパークゴルフ大会があるのは当支部だけだろう。パークゴルフは全国的にはマイナーなスポーツだが、北海道では、特に現役を離れた世代の人にはメジャーなスポーツだ。そのクラスを対象に支部会員の増員を図っているのだが、残念ながらいま一つ目的を果たせていない。
しかしながら、6月28日開催されたパークゴルフのコンペは、過去最高の11人の参加による大会となった。その中には、台北駐日経済文化代表札幌分處の陳處長（平12社大院）の奥様と、北海道支部の応援者の女性加納さん、2人の女性の参加がコンペを盛り上げてくれた。



結局、優勝は支部応援者の加納さん、準優勝は服部孝一氏（46学商）で幕を閉じた。秋の開催には新しい会員の参加と過去最高の参加者の大会になるようお願いながら会場を後にした。
（パークゴルフ部会長 大坊健二）
（松本陽一 011-778-6760）
**楽しいプレーで交流図る
大東・小川副支部長優勝**
恒例の北河内近隣支部ゴルフコンペが、6月19日にゴルフクラブ四条畷において開催された。今回は守口支部が世話役を担当。5月開催の校友会本部支部対抗戦第2位の勢いをそのまま持ち込もうと8人が参加し、総勢20人のコンペとなった。
時期としては梅雨の真っ最中、朝から雨がパラパラとしていたが、皆さんのゴルフに対する熱意で雨も持ちこたえ、楽し



北陽高出身の
『火花』で芥川賞を受賞
又吉直樹氏

校友トピックス

くプレーができると共に交流が図れた。
成績は常に安定したプレーで大東支部の小川副支部長が優勝の栄冠を勝ち取られた。今回は10月から11月頃に寝屋川支部さんが世話役で行う予定となった。
（守口支部幹事長 北町収）
**5組のエントリーは最多
初参加2人含め18人**
6月4日、梅雨入り前の爽やかな天候の下、奈良県五條市のシプレCCにて18人の校友の参加で河内長野支部（乗木久美支部長）親睦ゴルフコンペを開催した。
今回のコンペは、2人に初参加していただき5組のコンペとなった。5組のエントリーは支部ゴルフ同好会初めての組数



で、やはり多くの方に参加したいのコンペは賑やかで楽しい。成績は藤井英一校友（45学法）が優勝された。

（ゴルフ同好会幹事 後藤幹雄）
（後藤幹雄 090-3031-0422）

7月16日、第153回芥川龍之介賞・直木三十五賞の選考会が開催され、関西大学北陽高校（旧北陽高校）卒業生の又吉直樹氏（またよし・なおき）平11高北陽の『火花』（文藝春秋）が芥川賞に選ばれた。本学関係者が同賞を受賞するのは初めてのこと。
又吉氏は、在学中はサッカー部に所属し、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）にも

出場した。
卒業後はお笑いタレントを目指し、現在はコンビ名「ピース」としてコントや漫才などで活躍。キングオブコント2010準優勝、同年のM-1グランプリ4位。コンビとしてだけでなく、それぞれピンで出演するレギュラーのライブなども多く行っている。

『火花』は、若手芸人の世界を描いた又吉氏の初の純文学中編小説で、お笑いタレントが芥川賞を受賞したのは初めての快挙。初出は『文学界』2015年2月号。掲載時から話題を呼び、同誌が増刷されるヒットとなったほか、単行本発行部数も芥川賞受賞作品として歴代1位を記録している。

新刊



紹介

長瀬 壽俊 (昭45文学 著)

『日向瓊子の遙かなる旅―宮崎がつなぐ日米親善の絆』

定価2000円＋税
鉾脈社 刊



「巡査、来日中の露国皇太子

へ斬り掛かる」。明治24年の「大津事件」は日本を震撼させた。総理始め政府は津田三蔵を「死刑」にせよ、と露骨に干渉。然し、関大創立者の一人、大審院長児島惟謙は司法権の独立を護った。

事件前日、京都市長はニコライを奉迎。5年前、その時の歓迎文原稿と英訳文が宮崎市で見つかった。英訳した福島通は宮崎出身で、第三高等学校（三高）教授時代、同僚のギュリックと共に、有吉忠一を指導した。市長兼務の北垣国道京都府知事は元宮崎県知事有吉忠一の父有吉三七とは無二の親友であった。

日露戦争は、親日的であった米国人に警戒心を与え、大正13年の「排日移民法」は日米間の軋轢（あつれき）を高めた。宮崎に眠るクラーク宣教師夫妻の

一軸浩幸さんを悼む

弁護士、学校法人関西大学顧問 児玉 憲夫

前校友会会長・顧問の一軸さんが逝去された。悲報に接したのは8月28日でした。5月30日の関大

いすることも声をかけることも出来なかったのは、誠に残念でなりません。

一軸さんは、私と同じく昭和33年に本学法学部を卒業し、その後、校友会事務局や学校法人村上学園の教諭を勤められながら司法試験の勉強を続け、昭和43年に合格、46年に弁護士を開業された。

校友会では、昭和48年から常議員となり、広報・総務の部長を歴任し、平成6年から副会長を3期務められた後、平成18年に第9代の校友会会長に選出され就任

し、母校創立120周年記念の校友会や天神祭船渡御「関大丸」の就航などに尽力されました。法人関係では、平成12年10月から監事、20年から理事として活躍された。

一軸さんは、真に関大を愛し、校友会に尽くした人

であった。弁護士業務の傍ら、日常の半分以上を校友会の活動に捧げたのではないかと思います。永年にわたり校友会会長を務められた先輩榎本信雄先生を尊敬し、榎本先生と同じく校友会関係の地域支部や職域会などには極力参加し、多くの校友と親交を深めることを無常の喜びとされていました。

その一軸さんが、関大校友会の活動から離れるのは、忍び難いものがあったと思います。一軸さんは、関大大阪倶楽部の理事長退任を表明された、倒れる少し前の4月21日に開催された理事会から帰宅した時、奥さんに「もう無理や」と伝えられたと聞きました。永くない将来を見通し、私に後任の理事長職を託したのではないかと思います。一軸さんの情熱とご功績を讀ると共に、心からのご冥福をお祈りいたします。

最後に、ことのほか暑かった今夏に旅立った一軸さんを偲んで、「残り火を燃やしつくして蟬しぐれ」（芭蕉）を捧げます。

*写真は、天神祭船渡御に就航した「関大丸」で挨拶する一軸校友会会長（平成18年7月25日）



弟、シドニー・ギューリックはその緩和をめざし、昭和2年「雛祭」に合わせ「友情人形」を日本の子どもに贈る運動を開始。偏見を持たぬ児童の純真な心こそ、相互理解を深め、平和を招くと考えた。そのお礼に日本児童が米国へ贈ったのが「答礼人形」。

日米親善に尽力した小村壽太郎の長男小村欣一と民間外交を推進した渋沢栄一。大阪川口居留地に拠点を置いたギューリック一族と有吉忠一との深い交流。

長らく宮崎県教育庁で教育行政を担当、後に県立美術館副館長などを務めた著者は、発見した公文書や歴史史料を読み解きながら、人形交流の実態、普遍的価値の共有と真の国際交流のありかたを追究。真理を求め、宗教と科学、神話と歴史との間を探る一冊である。

（宮崎千里会 経N生

上田 良数（昭52学工）著

『現場監督 りょう』

文芸社 刊

定価1200円＋税

著者の上田氏は、書の中にも書かれている通り、昭和52年という大変な就職難の時代に本学の工学部土木工学科を卒業した後、在阪の中堅総合建設業に就



職された。「上田良数」はペンネームである。

本書は、土木技術者としての著者の自叙伝がエッセイ風に面白可笑しく描かれ、ときにはその可笑しさやものの悲しさをも感じさせる。この悲しさは、工事現場における土木技術者の責任感と孤独感から生まれるものであろう。と同時に、本書はまぎれもない工事技術記録でもある。それぞれのエッセイは、工事の時期と場所、目的と方法、さらには技術的な問題点について最初に説明がなされてから話の主題に入る。著者は20数年間にわたる数多くの工事現場の状況を誠実に記憶し、その中の出来事を詳細に記録してきたことが容易に想像されるが、これは技術者としてごく当たり前のことなのかかもしれない。

機械化が進んだ今日においても、土木構造物は人間が造っているのである。本書は、人との関わり合いが無くては土木構造物は完成しないことを実感させてくれる。職場でのちょっとした会話が工事を安全に進行させ、ひいては一般市民の安全で

安心な生活に繋がっていくことを教えてくれている。
土木技術者として、現場で仕事するとはどういうことなのか。

お悔み申し上げます

技術者の責任とは何であるかを実感することができ、これから土木技術者を目指す学生諸君にとっても大変興味ある内容になっている。

（環境都市工学部教授 西形達明）

中西之長氏（なかにし・ゆきなが）昭54学2商、伊勢（萬）平成26年9月20日死去。58歳。三重県度会郡玉城町。
高石知児氏（たかいし・ともじ）昭35学経。10月7日死去。77歳。枚方市。
藤田忠雄氏（ふじた・たどお）昭27学法、藤田税務経営事務所。平成27年1月12日死去。85歳。大阪市。
馬場園高一氏（ばばのの・こういち）昭35学経、社会保険労務士、（独法）高齢障害求職者支援機構高齢者雇用アドバイザー。校友会代議員、東成支部副支部長。2月7日死去。77歳。大阪市。
伊藤 彰氏（いとう・あきら）昭37学商。6月19日死去。77歳。堺市。
松谷 勉氏（まつたに・つとむ）昭30学商・32M経・35D経、名誉教授・元商学部教授、専攻は証券経済論。元校友会代議員。6月23日死去。82歳。川西市。

内田弘明氏（うちだ・ひろあき）昭34学商、簗上トラック運送代表取締役会長。6月29日死去。78歳。出雲市。
中桐明和氏（なかぎり・あきかず）名誉教授・元工学部教授、専門は材料力学。6月30日死去。83歳。豊中市。
首藤俊二氏（すどう・しゅんじ）昭29高1・34学商、三洋ビル代表取締役。校友会代議員、前旭支部支部長。7月4日死去。79歳。大阪市。
藤元尚宏氏（ふじもと・よしひろ）昭35学法、日産チェリ「箕面販売取締役相談役。校友会代議員、箕面支部支部長。7月9日死去。78歳。箕面市。
米谷晴生氏（よねたに・はるお）昭34学経、大トウ代表取締役会長。校友会代議員、前東成支部支部長。7月12日死去。78歳。大阪市。
佐藤元昭氏（さとう・もとあき）昭32高1・36学法、シンドウ工業相談役。8月2日死去。76歳。尼崎市。
中 庄平氏（なか・しょうへい）昭35高1・39学法、野田

庄代表取締役・（学）茨木学園理事長。元校友会常議員・元代議員。8月8日死去。73歳。西宮市。
川手昭平氏（かわて・しょうへい）名誉教授、元工学部教授、専門は発酵化学。8月9日死去。88歳。茨木市。
今井圭一氏（いまい・けいいち）昭38学商、今井金箔取締役会長。校友会代議員・元常議員、前石川県支部支部長。8月25日死去。74歳。金沢市。
岡田誠一氏（おかだ・せいいち）昭34学商、岡田本社代表取締役会長。校友会代議員・元常議員、元中央東支部支部長・現大阪中央支部顧問。8月26日死去。80歳。大阪市。
昭和60年からの事業部副部長時代、カード時代の到来に対応して「関西大学校友カード」の導入に尽力された。「関西大学校友カード」は、校友（配偶者）のみが所持できる校友会の会員証的機能とクレジットカード機能を併有させ、独自の特典を付加して発行されている。

關大
第五八九号
平成二十七年九月十五日発行(奇数月十五日発行)
昭和三十年八月六日第三種郵便物認可
発行人 校友会 寺内俊太郎
発行所 関西大学校友会 〒五六四・八六八〇 吹田市山手町三丁目三番三十五号 電話〇六(六三六八)一三二二(代) 振替口座 00930255594
定価 〇〇円
(送料別)



エスリード豊中桜塚

エスリード
城東中央

大阪エリア OSAKA AREA

エスリード鶴見緑地公園



兵庫エリア HYOGO AREA

エスリード
姫路セミア

エスリード西宮甲陽園

関西一円に展開し続ける豊富なラインナップ。

▶▶ 物件情報が満載！詳しくは弊社ホームページをご覧ください！ ◀◀

ave.eslead.co.jp

エスリードアベニュー

検索



日本エスリードは未来への先駆を担う、「総合生活産業」のリーディングカンパニー。

1992年の創立以来、日本エスリードは「住む人の立場に立った住まいづくり」という理念を基に
総合ディベロッパーとして確固たる信頼を築き上げてまいりました。創業20周年という節目を超えてはや3年。
これからも良質なマンション開発、ニーズを的確に捉えた企画・提案、きめ細やかな活動・アフターサービスなどを通じて新しい価値を創造。
積み重ねてきた経験と、25,000戸を超える豊富な実績を礎に、グループ全体で“総合住宅産業”の
充実をはかり、長期的な成長を遂げてまいります。

※平成27年4月現在(計画を含む)



京都エリア KYOTO AREA

エスリード
四條大宮

エスリード伏見丹波橋

エスリード京都山科セミア



滋賀エリア SHIGA AREA

エスリード大津におの浜

《ESLEAD SERIES》好評分議中

お問い合わせは



0120-058-570

事業主(売主)



日本エスリード株式会社

国土交通大臣(30548)号(公社)滋賀地区不動産公正取引協議会会員
(一社)不動産協会会員・東京都建設取引円滑化協議会
〒533-0803 大阪市福島区福島6-25-19 TEL.06(6)343-1886(代) FAX.06(6)343-1779

